

## 第5章 生涯学習

- 第1節 生涯学習の推進
- 第2節 社会教育の推進
- 第3節 青少年教育
- 第4節 成人教育
- 第5節 視聴覚教育
- 第6節 宮城県図書館
- 第7節 宮城県泉が岳自然の家
- 第8節 宮城県松島自然の家
- 第9節 宮城県蔵王自然の家
- 第10節 宮城県志津川自然の家

## 第1節 生涯学習の推進

社会環境の急激な変化の中にあつて、県民一人ひとりが、自己の充実や生活の向上と望ましい地域社会の形成を目指し、生涯にわたつていつでも、どこでも必要な学習ができるように、生涯学習の視点から社会の各種学習機能を総合的に整備充実し、支援者を養成するとともに、学習の機会を提供することが重要な課題である。

このため、本年度は生涯学習推進の一環として次の事業を行った。

### 1 第三次宮城県生涯学習振興計画の推進

平成18年3月に策定した「第三次宮城県生涯学習振興計画」に基づき、県民の主体的な学習活動を支援し、生涯学習環境の充実に努めた。

### 2 みやぎ県民大学推進事業

#### (1) 高等学校・専門施設・大学開放講座、自主企画講座

県民の多様な学習要求にこたえるため、高等学校、専門施設、大学、民間有志支援者団体、NPO団体の持つ専門的教育機能を活用して、一般教養・専門的知識・技能などの学習機会の提供に努めた。(第5-1表)

第5-1表 平成19年度みやぎ県民大学学校等開放講座開催状況

#### 高等学校開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
仙台西高等学校	基礎絵画講座	9月15日～10月13日	5	23
宮城広瀬高等学校	工芸(染色)	12月22日～1月26日	4	36
水産高等学校	宮城の海・船・魚を学ぶ パートIX	6月30日～8月25日	3	35
古川工業高等学校	化学技術の世界にふれてみませんか?	7月7～21日	3	31
気仙沼西高等学校	ふれあいパソコン教室	8月8～10日	3	23
白石工業高等学校	コンピュータ基礎講座～年賀状作成と画像編集～	12月6～11日	4	7
農業高等学校	農業高校生と農業を体験しませんか	6月16日～10月30日	7	8
貞山高等学校	『パソコンに親しむ』～趣味や暮らしに役立つパソコン講座～	7月14～22日	4	14
柴田農林高等学校	木工(表札をつくる 他)	6月23日～10月13日	8	13
大河原商業高等学校	やさしいパソコン講座	8月2～7日	4	33
伊具高等学校	楽しむ野菜とおいしい野菜づくりそして丸森グリーンツーリズム	5月26日～11月24日	4	38
亘理高等学校	基本の焼き菓子	9月8日～12月8日	4	6
黒川高等学校	野菜と草花の楽しみ講座	6月30日～11月10日	5	16
加美農業高等学校	休日の畑遊び2	6月23日～11月4日	5	7
鹿島台商業高等学校	初歩から学ぶIT	8月6～10日	5	24
涌谷高等学校	かな書道教室	7月23日～8月8日	6	7
南郷高等学校	南郷高校農場で「きれいに咲かせようシクラメン」ー播種から葉組までー	5月26日～10月20日	4	28
佐沼高等学校	やさしい中国語会話(初級コース)	8月18日～9月22日	5	30
佐沼高等学校	やさしい中国語会話(中級コース)	9月29日～10月27日	5	30
東松島高等学校	心をもてなすスイーツコーディネート	6月16日～10月6日	4	24
県立盲学校	パソコン点訳講座	7月25～31日	5	7

(20高等学校21講座)

(計440人)

#### 専門施設開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
宮城県図書館	叡智の杜を訪ねて	9月1日～10月20日	8	80
宮城県美術館	美術と美術館を楽しむ	6月30日～7月21日	4	33
宮城県松島自然の家	チャレンジ! ニュースポーツ	9月5～26日	4	15

(3施設3講座)

(計128人)

大学開放講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
東北大学大学院文学研究科	生あつての死、死あつての生	8月25日～9月22日	5	114
東北大学大学院歯学研究科	健やかな毎日を地域で生きるために-私たちの住む街の口腔保健の現状-	9月7～28日	4	29
東北大学大学院経済学研究科	地域企業の飛躍を考える40の質問	9月6～27日	4	118
東北大学大学院農学研究科	安全でおいしいわが国の食料	8月30日～9月27日	5	92
東北大学大学院環境科学研究科	地球・環境・エネルギー -未来に向かって-	6月15日～7月6日	4	39
東北大学多元物質科学研究所	最近のバイオテクノロジー研究	8月10日～9月21日	6	45
宮城教育大学	能と日本文化	9月15日～10月13日	5	65
東北学院大学文学部	戦いの歴史2	5月16日～6月20日	6	325
東北学院大学工学部	東北学院大学工学部大学開放講座	5月30日～7月18日	8	51
東北学院大学経済学部	市民のための株式投資入門	10月25日～11月15日	4	162
東北福祉大学	現代に生きる仏教思想 -教典が語る人間の生と死の真実-	10月5～26日	4	48
宮城学院女子大学 (大和町で開催)	黒川・大和の歴史と文化	11月8～29日	4	93
東北生活文化大学	アートアレンジメント～フレスコとデューパージュを用いて～	9月1～2日	2	16
尚綱学院大学	いのちの教育Ⅲ	9月26日～11月28日	6	382
仙台大学	快汗運動のすすめ	10月6～27日	4	80
石巻専修大学	たのしい読書の力学 -わたしを夢中にさせるもの-	5月17日～8月3日	12	140
宮城誠真短期大学	誠真短大開放講座 ～生活の中に楽しみを求めての学び～	8月29日～10月3日	6	10

(10大学17講座)

(計1,809人)

自主企画講座

実施機関	講座名	開催期間	回数	受講者数
社団法人仙台ユネスコ協会	「華開く芸術文化・パートⅡ」平泉の黄金文化・世界遺産への道	10月25日～11月6日	3	35
グローバルはぎの会	「音楽のひきだし」人と関わる方法を音楽療法から学ぼう	10月10日～11月27日	3	85
伊達なクニづくり女性委員会	みやぎ県民大学in栗原 栗原の女と男～共に考えよう、人権について～	8月25日～11月1日	2	129
特定非営利活動法人 冒険あそび場～せんだい い・みやぎネットワーク	防災・減災まちづくり	9月22日～12月8日	4	34
特定非営利活動法人 みやぎ生涯学習指導・支援 センター	みやぎ県民大学 仙南カレッジ『生きているうちにやっておくこと』	9月29日～11月17日	4	38
仙台若林子ども劇場	絵本の読み聞かせと絵本作り	9月24日～11月3日	3	20
特定非営利活動法人 都市デザインワークス	まち歩きツアー 市民ガイド養成講座	9月30日～10月20日	2	19

(7団体7講座)

(計360人)

(2) 生涯学習支援者養成講座「入門編・実践編・研修大会」

県内の各市町村や社会教育機関・団体・民間等で生涯学習に意欲のある方を対象に、専門的な学習講座や演習の場を通して生涯学習有志支援者を養成するための講座を開設した。

○実施期間及び回数

入門編 1月～2月 実践編 8月～9月 各6回  
研修大会 2月29日

○参加の状況

入門編 38人 実践編 21人 研修大会 51人

○受講者の活動分野

家庭教育、成人教育、女性教育、青少年健全育成活動、学習グループ活動等の指導助言

○修了者を民間有志支援者として記載した名簿を作成し、市町村、関係団体などに配布し、その活用を努めた。

(3) 生涯学習活用出前講座

生涯学習支援者養成講座及び女性指導者養成研修事業の修了者、生涯学習課職員を講師として、参加・参画型の学習機会に対する需要の高まりに対応した学習機会を県民に提供し、各地域における生涯学習の推進に寄与するとともに、生涯学習成果の活用促進を図ることを通じ、創造性豊かな社会の実現を目指すため講座を開設した。

○開設市町村 色麻町(7月3日～11月13日) 5回21人  
大河原町(1月12日～2月16日) 5回27人  
仙台市(3月4～12日) 2回55人

3 地域社会と学校教育との協働の推進

(1) みやぎらしい協働教育推進事業

社会の中でたくましく生きる子どもたちを地域全体ではなくむために、地域と学校をつなぐ仕組みをつくり、地域と学校が協働した教育活動を展開した。さらに、広報活動、研修会等で協働推進気運の醸成を図った。

① 協働推進事業

○ 「宮城県協働教育振興会議」の開催(知事、県教育長、学識経験者、市町村長、市町村教育長、実践者等12人)

第1回: 7月31日(今後の協働教育振興に向けて)、  
第2回: 1月23日(協働教育振興施策について)

○ 協働推進検討会議の開催 4月25日、5月31日、6月14日、9月12日、9月26日～11月10日(現地視察3箇所)、10月17日、11月6日、12月20日、2月20日、協働教育モデル実践成果の検証、協働教育振興施策の検討、

○ 協働推進市町村ネットワーク会議の開催(11月15日、自治会館、参加者38名)

○ 情報提供事業

- ・ ホームページでの協働実践情報の提供
- ・ 普及啓発リーフレット3,000部配布
- ・ 冊子「宮城の起業教育」1,600部配布
- ・ 各種会議での事業PR、啓発(教育長会議、指導主事会議、社教主事会議、市町村主管課長・担当者会議等)
- ・ 教職員研修(8月22日 初任研、10年研選択研修に各教育事務所開催の協働教育研修会の位置付け)
- ・ 県PTA連合会等関係団体との連携 県P連活動計画への協働教育の位置付け、協働教育研修会の地区Pとの共催(仙台、栗原)
- ・ 報道機関を通じた広報活動(報道機関への情報提供回数: 42回、新聞掲載109回、テレビ放映28回)

② コラボスクール推進事業

○ コラボスクールモデル事業市町村委託 ※1市町村への委託は2年間  
14市町(20小学校)との委託契約が結ばれ、各市町、各学区に協働推進組織が設置され、協働による教育実践が展開された。(第5-2表)

- 協働教育研修会の開催（7教育事務所毎に開催）  
6/13南三陸合庁80名，7/7大郷町文化会館148名，  
8/23パレット大崎生涯学習センター63名，  
11/10角田市市民センター300名，11/10若柳総合体育館  
200名，11/27石巻市遊楽館118名，11/29登米合庁84名
- ③ 起業教育推進事業
  - 起業教育実践補助事業  
県内7中学校で、起業教育研究会の設置、運営と中学校での  
起業教育実践が展開された。（第5-2表）
  - 起業教育実践見学会の開催（14回開催）  
円田中学校（10/20），坂元中学校（9/26，10/11，10/21，  
11/25），古川西中学校（8/4，9/8，10/21）  
栗駒中学校（7/29，10/28），東和中学校（10/21，11/3）  
住吉中学校（10/28），小原木中学校（11/8）（各種イベント等での販売実践のため各会場とも参加者多数）

第5-2表

「みやぎらしい協働教育推進事業」  
平成19年度実施市町村・実践校一覧

(コラボスクール推進事業)

No.	市町村	実践校
1	白石市	越河小学校
2	蔵王町	円田小学校
3	蔵王町	平沢小学校
4	蔵王町	永野小学校
5	蔵王町	宮学
6	蔵王町	遠刈田小学校
7	村田町	村田第二小学校
8	柴田町	槻木小学校
9	名取市	高館小学校
10	名取市	相互台小学校
11	岩沼市	玉浦小学校
12	亘理町	吉田小学校
13	大郷町	粕川小学校
14	大崎市	高倉小学校
15	加美町	旭小学校
16	涌谷町	篔岳小学校
17	石巻市	大街道小学校
18	石巻市	須江小学校
19	東松島市	大塩小学校
20	南三陸町	戸倉小学校

(起業教育推進事業)

No.	市町村	起業教育研究会	実践校
1	蔵王町	蔵王町円田地区起業教育研究会	円田中学校
2	山元町	坂元地区起業教育研究会	坂元中学校
3	大崎市	大崎市起業教育研究会	古川西中学校
4	栗原市	栗原市栗駒起業教育研究会	栗駒中学校
5	登米市	登米市東和地区起業教育研究会	東和中学校
6	石巻市	石巻市起業教育研究会	住吉中学校
7	気仙沼市	小原木地区起業教育研究会	小原木中学校

(2) 放課後子ども教室推進事業

県内の小学校区において、すべての子どもを対象とし、放課後や週末等に子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画（ボランティア活動等）を得て、子どもたちの勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を実施することにより、子どもたちが地域の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。

- ① 放課後子ども教室推進事業 2市6町23教室  
（白石市，丸森町，岩沼市，山元町，富谷町，大和町，色麻町，本吉町）
- ② 放課後子ども教室備品整備事業 3町6教室  
（丸森町，色麻町，本吉町）
- ③ 放課後子ども教室指導者研修・推進委員会事業
  - コーディネーター等研修会（11/15自治会館48名）
  - 安全管理員研修会（12/12子ども総合センター75名）
  - 宮城県放課後子どもプラン連絡調整会議の開催  
（11/20，2/21行政庁舎会議室11名）

4 生涯学習情報提供システム整備事業

県民の主体的・自発的な学習活動を支援するため、生涯学習に関する各種の情報を収集・更新し、インターネット上で提供している。

5 生涯学習相談事業

県民の主体的な生涯学習活動を支援するため、生涯学習相談員を配置し、生涯学習に関する相談に応じるとともに情報の提供を行った。

(1) 事業内容

○ 相談時間 火～日曜日 午前10時～午後4時

(2) 利用状況

○ 相談実日数 284日

相談件数・相談内容・相談時間（第5-3表）

○ 相談者の性別・年齢・居住地・情報媒体（第5-4表）

平成19年度「生涯学習相談」相談件数・内容・時間  
第5-3表

項目	区分	電話相談	面接相談	合計
相談件数		227	746	973

相談内容	件数	構成比 (%)
学習機会・イベント	218	22.4
施設・場所	40	4.1
団体・グループ	22	2.3
講師・指導者	87	8.9
資格	37	3.8
情報源	312	32.1
その他	257	26.4
計	973	100.0
相談時間合計 (分)	13,253	
一件当たり平均 (分)	13.6	
相談実日数 (日)	284	
一日当たり相談件数 (件)	3.4	
入室者数 (人)	3,851	
一日当たり平均 (人)	13.6	

第5-4表 相談者の性別・年齢・居住地及び情報媒体

相談者の性別	区分	件数	構成比 (%)
	相談者の性別	男	636
女		337	34.6
計		973	100.0
相談者の年齢	9歳未満	0	0.0
	10～19歳	14	1.4
	20～29歳	82	8.4
	30～39歳	143	14.7
	40～49歳	140	14.4
	50～59歳	161	16.5
	60歳以上	433	44.5
	計	973	100.0
相談者の居住地	仙台市	821	84.4
	仙台管内	45	4.6
	大河原管内	5	0.5
	大崎管内	47	4.8
	栗原管内	4	0.4
	登米管内	9	0.9
	石巻管内	13	1.3
	南三陸管内	2	0.2
	県外	12	1.2
	不明	15	1.5
計	973	100.0	
情報媒体	県政だより	8	0.8
	チラシなど	114	11.7
	新聞・テレビ・ラジオ	29	3.0
	広報・パンフレット	5	0.5
	すこやか帳	0	0.0
	電話	39	4.0
	県庁案内その他	101	10.4
計	677	69.6	
計	973	100.0	

## 第2節 社会教育の推進

### 1 市町村の社会教育行政

生涯学習社会に向けて、地域住民と直接的な関わりをもつ市町村の果たす役割は大きく、社会教育の推進体制の充実が強く望まれている。

特に、指導体制の強化を図るため、社会教育主管課の設置と職員の適正配置・専任化を促進するとともに、社会教育主事の派遣を行った。

(1) 平成19年12月現在、社会教育主管課の設置状況は、36市町村で77.8%となっている。

(2) 市町村社会教育関係職員数は、教委事務局530人・公民館職員1,241人（職員の専任474人）・図書館職員248人・視聴覚教材センター職員53人の計2,072人である。なお、市町村における社会教育主事の配置率は94%である。また、社会教育指導員の配置市町村は17市町村で34人と今年も減少傾向になっている。

(第5-5表参照)

町村の要請に応じて県教委任命の社会教育主事19人を8町3広域行政事務組合、合併支援のため6市（丸森・蔵王・大和・松島・色麻・加美・美里・南三陸・仙南広域・大崎広域・石巻広域・栗原市（2）登米市（2）大崎（1）石巻（1）気仙沼（1）東松島（1））に派遣し、町村の社会教育行政における指導体制の充実強化を図った。

(3) 社会教育委員は36市町村に設置されており、390人で1教委当たり10.8人となっている。

(4) 公民館等は263館・職員1,241人で1館平均4.7人と微減した。公民館運営審議会は7市町に設置され、106人が配置されている1市町村平均15.1人となっている。県市町立図書館は30館あり、専任職員は248人（司書、司書補95人）1館平均8.3人となっている。

第5-5表 社会教育関係職員数 (単位：人)

教育事務所等	市教委等数	社会教育主事				公民館職員			
		専任	派遣	兼任	計	専任	兼任	その他	計
大河原	9	12	2	6	20	32	46	56	134
仙台	13	11	2	6	19	59	83	39	181
大崎	5	6	4	3	13	28	78	37	143
栗原	1	3	2	0	5	0	50	0	50
登米	1	0	2	0	2	20	37	0	57
石巻	3	4	2	2	8	25	51	154	230
南三陸	3	5	2	0	7	20	15	20	55
仙台市	1	0	0	3	3	290	27	74	391
広域	4	1	3	4	8	0	0	0	0
計	40	42	19	24	85	474	387	380	1,241

## 2 社会教育委員の会議

第29次宮城県社会教育委員の会議意見書「自然の家の充実のための具体的方策－ボランティア活動の促進と民間との連携強化及び評価活動について－」を教育委員会に提言した。

### 会議の日程及び内容

会議名等	開催月日	内 容	場 所
第6回会議	平成19年 6月5日	○第29次宮城県社会教育委員の会議の テーマについて	宮城県 行政庁舎
第7回会議	平成19年 9月4日	○第29次宮城県社会教育委員の会議の テーマについて	宮城県 自治会館
第8回会議	平成19年 10月2日	○「自然の家」の今後の在り方について	宮城県 行政庁舎
第9回会議 準備会	平成19年 11月6日	○「自然の家」の今後の在り方について	宮城県 自治会館
第9回会議 準備会	平成19年 12月11日	【小委員会】 ○19年度協議内容のまとめ案作成	宮城県 行政庁舎
第9回会議	平成20年 1月22日	○第29次宮城県社会教育委員の会議の 意見書について	宮城県 行政庁舎

## 3 研修事業

- 社会の進展に伴う県民の学習要求の多様化・高度化に対応し、研修内容を体系的に編成し社会教育関係職員の専門性、指導力の向上を図るため、次の研修を実施した。(第5～7表参照)
- 社会教育専門職員・団体などの中核的指導者を養成するために国や大学が行う各種講習会・研修会・講座への参加を積極的に進めた。

第5～6表 第30次宮城県社会教育委員名簿  
(平成20年4月15日現在)

No	氏 名	役 職 名
1	青 木 道 夫	大崎市中央公民館館長
2	阿 部 かほる	子育て支援「みやぎわっこの会」代表
3	石 垣 政 裕	みやぎお父さんの会ネットワーク世話人 代表
4	大 内 久美子	公募委員
5	大 沼 隆 裕	宮城県PTA連合会会計理事
6	小 野 優 子	青少年体験活動コーディネーター
7	河 野 民 帆	宮城県仙台第三高等学校長
8	菅 原 琢 臣	宮城県青年団連絡協議会元会長
9	千 葉 芳 樹	富谷町教育委員会教育長
10	梨 本 雄太郎	宮城教育大学准教授
11	水 谷 修	東北学院大学教授
12	森 雅一郎	東北放送アナウンス部長
13	渡 邊 美代子	名取市立下増田小学校長
任 期 平成20年3月1日から平成22年2月28日まで ※名簿は五十音順です。		

第5～7表

平成19年度社会教育関係職員研修事業

No.	事 業 名	趣 旨	対 象	期 日	会 場	参加者数 (人)
1	生涯学習・社会教育主 管課長等会議	本県生涯学習施策と主要推進事項等の共通理解を深めるとともに、その推進方策や市町村における生涯学習事業の推進について協議する。	県社会教育主事・市町村社会教育主管課長	4月20日	県自治会館	124
				10月5日	県自治会館	97
2	社会教育関係職員研修会	生涯学習時代における社会教育関係職員・公民館職員の果たすべき役割を明らかにするとともに、企画者、援助者としての専門的知識・技能について研修する。	社会教育行政職員・公民館職員等	5月24日 11月8日	県自治会館	98
3	県社会教育推進会議	県内市町村等の社会教育委員及び社会教育行政の担当者が、生涯学習社会の構築に向けた社会教育の推進方策について研修する。	県・市町村社会教育委員、 社会教育関係職員等	6月7日	県庁講堂	192
4	社会教育主事研修会	社会教育主事に必要な知識や技能の向上を図る。	県・市町村等社会教育主事	9月7日	県自治会館	43
5	社会教育主事講習事前研修会(①・②)	社会教育についての認識を深めるとともに、社会教育主事の役割及び受講の心構えについて研修する。	東北大学社会教育主事講習受講者	①6月29日	県自治会館	48
				②6月30日		48

## ●国立教育政策研究所主催社会教育研修事業

	講 座 名	期 日	受 講 者 数	受 講 者 所 属
1	博物館職員講習	5月10日(水)～6月2日(金) 24日間	1人	仙台市
2	社会教育主事講習(A)	7月23日(月)～8月24日(金) 33日間	4人	仙台市
3	社会教育主事講習(B)	1月16日(水)～2月22日(金) 38日間	1人	仙台市
4	メディア教育指導者講座	11月26日(月)～11月30日(金) 5日間	0人	
5	図書館司書専門講座	6月11日(月)～6月22日(金) 12日間	0人	
6	新任図書館長研修会	8月28日(火)～8月31日(金) 4日間	2人	仙台市

- 東北大学社会教育主事講習（7月9日（月）～8月10日（金））  
受講者数35人（県32人・市町村3人）

#### 4 社会教育団体に対する助成

全県的組織をもつ社会教育団体に対して次のとおり補助金を交付した。

第5-8表

	団体名	代表者名	補助金 (千円)
1	宮城県地域婦人団体連絡協議会	三浦 絢子	150
2	宮城県青年団連絡協議会	菅原 琢臣	150
3	宮城県PTA連合会	櫻中 辰則	150
4	宮城県高等学校PTA連合会	権 奇哲	40
5	日本ボーイスカウト宮城県連盟	村井 嘉浩	40
6	(社)ガールスカウト日本連盟宮城県支部	平岡さち子	40
7	(社)宮城県子ども会育成連合会	菅原 芳郎	40
8	宮城県公民館連絡協議会	阿部 俊昭	40
9	宮城県視聴覚教育連絡協議会	阿部 和夫	40
10	宮城県社会教育委員連絡協議会	阪内 六郎	40
11	宮城県ユネスコ連絡協議会	藤原 五郎	40
12	(社)宮城県芸術協会	小山喜三郎	40

#### 5 社会教育施設の状況

生涯学習の拠点として期待される社会教育施設については、積極的に整備充実を図ってきたところであるが、市町村合併等による再編により施設の適正配置、専門職員体制の整備、事業内容の充実、関連施設とのネットワーク化等を図り、県民の多様な学習要求に対応できる施設整備が求められている。

##### (1) 公民館等

###### ア 設置状況

公民館は、平成19年度現在263館設置されている。市町村合併の進展や学習ニーズの多様化、高度化に伴い、地域の実情に応じて、関連施設の整備状況などを考慮し、適正な配置と整備充実が進められてきた。（第5-9、10、11表参照）

##### (2) 図書館

#### イ 職員体制と研修活動

- (ア) 職員は専任の割合が38.2%で1館当たり1.8人である。
- (イ) 研修活動としては、社会教育関係職員セミナーを2回、県自治会館において開催した。

第5-9表 公民館設置状況

区分	対象人口(人) (H17国勢調査速報)	現況		1市町村当たり 館数(館)	1館当たり人口 (人)
		市町村数	総数		
大河原	188,216	9	48	5.3	3,921
仙台	440,078	13	39	3.0	11,284
大崎	215,092	5	43	8.6	5,002
栗原	77,931	1	21	21.00	3,711
登米	86,962	1	18	18.00	4,831
石巻	217,632	3	19	6.33	11,454
南三陸	93,876	3	16	5.3	5,867
仙台市	1,029,595	1	59	59.00	17,451
計	2,349,382	36	263	7.31	8,933

第5-10表 過去10年間ににおける公民館整備状況

区分	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	この10年 間の平均	この5年 間の平均
	新築数(館)	1	2	0	2	1	2	0	0	0		
新築数(館)	1	2	0	2	1	2	0	0	0	0	0.8	0.4

表5-11表 公民館職員配置状況

(平19. 5. 1現在)

区分	館長(人)	主事等(人)	計(人)	割合(%)
専任	47	427	474	38.2
兼任	97	290	387	31.2
嘱託	207	173	380	30.6
計	351	890	1,241	100.0

第5-12表

図書館設置状況

	設置年	床面積(m <sup>2</sup> )	蔵書冊数 (19. 4. 1:冊)	個人貸出 (18年度:冊)	職員数 (19. 4. 1:人)	うち有資格者数 (19. 4. 1:人)	図書購入費 (18年度決算 額:千円)
宮城県図書館	明治14年	18,100	1,023,856	958,234	39	16	52,475
仙台市民図書館	昭和37年	3,750	480,967	829,288	23	8	40740
仙台市広瀬図書館	平成3年	600	92,492	312,844	6	3	10115
仙台市宮城野図書館	平成2年	3,324.6	198,179	577,317	10	5	15808
仙台市榴岡図書館	昭和58年	632	69,634	203,095	5	1	8559
仙台市若林図書館	平成5年	1,911.2	179,462	693,895	10	3	22488
仙台市太白図書館	平成11年	2,454.3	177,706	693,718	9	3	22611
仙台市泉図書館	昭和53年	4,983.5	484,654	941,583	17	5	31068
石巻市図書館	明治14年	1,463.2	188,378	319,009	12	4	12799
塩竈市民図書館	昭和51年	2,543.5	220,810	246,259	12	5	18778
大崎市図書館	昭和36年	1518.9	124,762	174,137	8	4	9973
気仙沼市図書館	大正5年	1,944	185,216	141,486	3	1	7728
白石市図書館	大正3年	1,234	101,035	79,638	4	2	6897
名取市図書館	昭和51年	929.9	173,418	223,169	8	4	12073

	設置年	床面積 (㎡)	蔵書冊数 (19. 4. 1:冊)	個人貸出 (18年度:冊)	職員数 (19. 4. 1:人)	うち有資格者3 (18. 4. 1:1)	図書購入費 (18年度決算 額:千円)
多賀城市立図書館	昭和53年	1,541.2	182,550	349,907	11	3	15974
角田市図書館	昭和46年	1,011	140,934	133,807	4	1	8993
岩沼市図書館	昭和50年	976	108,415	214,332	4	2	10054
栗原市立図書館	平成10年	1,809	89,482	145,270	6	2	6758
登米市立迫図書館	大正6年	531	35,476	36,995	5	2	-
登米市立登米図書館	昭和29年	124	35,249	6,107	5	1	892
東松島市図書館	平成5年	998.5	129,183	239,026	4	2	7762
蔵王町立図書館	平成16年	593	38,939	102,365	5	2	6099
丸森町立金山図書館	昭和11年	121	23,340	1,245	3	-	180
亘理町立図書館	平成6年	1,907	139,972	182,881	7	2	8,624
利府町図書館	平成16年	202.8	36,283	142,860	5	4	3,929
加美町中新田図書館	平成6年	2,878	227,519	119,696	6	1	7,365
加美町小野田図書館	平成16年	1,051	61,832	85,640	3	1	5,102
美里町小牛田図書館	平成2年	923	108,952	152,777	3	1	8,492
南三陸町図書館	昭和62年	416.2	18,509	29,581	4	2	2,220
本吉町立図書館	昭和30年	476	74,647	72,853	5	3	2,898
合計	-	-	5,151,851	8,409,014	246	93	367,454



(3) 博物館

登録施設・相当施設合わせて16館あるが、民族資料館など各地域の特色を生かした類似施設が年々整備されてきている。(第5-13表参照)

県美術館は「開かれた」総合美術センターとして広く県民生活

に密着し、親しまれる事業を企画・実施してきた。

今後ますます県民の豊かな文化環境を求める気運が高まる中で、それぞれの博物館、類似施設などの特色を十分生かした連携が強く望まれる。

第5-13表

博物館設置状況

施設名	設置者	登録年月日	所在地
東北歴史博物館	宮城県	平成12年1月26日	多賀城市高崎1-22-1
宮城県美術館	宮城県	昭和57年9月4日	仙台市青葉区川内元支倉34-1
瑞巖寺宝物館	宗教法人 瑞巖寺	昭和27年8月13日	松島町松島字町内91
斉藤報恩会自然史博物館	財団法人 斉藤報恩会	昭和29年9月13日	仙台市青葉区本町二丁目20-2
仙台市博物館	仙台市	昭和36年10月2日	仙台市青葉区川内三の丸跡
塩竈神社博物館	宗教法人 志波彦塩竈神社	昭和41年5月6日	塩竈市一森山1-1
仙台市科学館	仙台市	平成2年9月26日	仙台市青葉区台原森林公園4-1
カメイ記念展示館	財団法人カメイ社会教育振興財団	平成7年11月10日	仙台市青葉区五橋1-1-3
歴史博物館青葉城資料展示館	宗教法人 宮城県護国神社	平成18年10月20日	仙台市青葉区川内1番地
マリニピア松島水族館	仙台急行株式会社	昭和30年12月28日	松島町浪打浜16
八木山動物公園	仙台市	昭和41年5月25日	仙台市太白区八木山本町1-43
共生福祉会福島美術館	社会福祉法人 共生福祉会	昭和55年8月4日	仙台市若林区土樋288-2
東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館	学校法人 梅壇学園	平成元年5月31日	仙台市青葉区国見一丁目8-1
ふるさと歴史館	大崎市	平成4年3月1日	大崎市松山千石字松山428
東北陶磁文化館	加美町	平成6年7月28日	加美町字町裏64
リアス・アーク美術館	気仙沼・本吉地域広域行政事務組合	平成12年7月18日	気仙沼市宇赤岩牧沢138-5

(4) 青少年教育施設

自然の家4施設(県立)、少年自然の家2施設(国立1、仙台市立1)、国立野営場1施設、青年会館1館があり、それぞれの施設の特色を生かした事業が実施されている。

(5) 宮城県婦人会館

一泊研修、家庭における男女共同参画講座などの事業を(財)みやぎ婦人会館に委託し実施した。

6 子ども読書活動推進事業

県内における子どもの読書活動の推進に関する方策と具体的な取組を内容として、平成16年3月に策定された「みやぎ子ども読書活動推進計画」を踏まえ、各市町村の子ども読書活動推進計画の実施を支援するため、活動の担い手(ボランティア、団体、学校担当者等)を育成する講習会を開催した。

・白石市

期日：平成20年1月11日～2月22日

会場：白石市図書館

参加者：41人

### 第3節 青少年教育

青少年を取り巻く社会環境の変化が青少年にさまざまな影響を与えている中、次代を担う青少年が社会の変化に主体的に対応できる資質と意欲を持ち、たくましく思いやりのある人間として育つための青少年育成体制と事業の充実、環境づくりの総合的な推進に努める。

#### (1) 青少年育成指導者研修の実施

No	事業名	内容	対象	期日	会場
1	MAP（みやぎアドベンチャープログラム）研修会	<p>学校外活動の充実と地域におけるMAPの普及・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MAP体験会 MAPの基本的な考え方を学ぶとともに、簡単なMAPのアクティビティを体験する。</li> <li>・MAP講習Ⅰ MAPの理論やプログラミングを学ぶとともに、様々なMAPのアクティビティやローエレメントを研修する。</li> <li>・MAP講習Ⅱ MAPのプログラミングの組立と、アドベンチャーカウンセリング等心理的手法を学ぶ。</li> </ul>	<p>市町村教育委員会・公民館・青少年行政担当者・施設職員・少年教育指導者等各 25人</p> <p>MAP体験会修了者 25人</p> <p>MAP講習Ⅰ修了者 25人</p>	<p>5月22日（火）</p> <p>5月26日（土）</p> <p>6月5日（火）</p> <p>10月24日（水）～26日（金）</p> <p>11月28日（水）～30日（金）</p>	<p>松島自然の家</p> <p>蔵王自然の家</p> <p>志津川自然の家</p> <p>志津川自然の家</p> <p>蔵王自然の家</p>
2	ジュニア・リーダー中級研修会	子ども会の直接指導にあたる年少指導者を対象に、子ども会活動に必要な知識と技術を習得させる研修会	<p>ジュニア・リーダー初級研修修了者(市町村等教育委員会の推薦者)</p> <p>大河原 29人 仙台 15人 大崎 14人 栗原 5人 登米 17人 石巻 33人 南三陸 15人</p>	7月・8月	<p>各教育事務所ごと5会場で実施（南三陸・登米、大崎・栗原合同開催）</p> <p>志津川自然の家 蔵王自然の家 松島自然の家 国立花山青少年自然の家 婦人会館 他</p>
3	ジュニア・リーダー上級研修会	ジュニア・リーダー中級研修を修了した年少指導者を対象に、子ども会活動のリーダーや地域ボランティアとしての資質向上を図る研修会	<p>ジュニア・リーダー中級研修修了者(市町村等教育委員会で活動している者)</p> <p>大河原 14人 仙台 17人 大崎 3人 栗原 2人 登米 13人 石巻 6人 南三陸 7人</p>	12月25日（火）～27日（木）	<p>松島自然の家 志津川自然の家</p>

(2) 地域教育力活性化推進体制の充実

完全学校週5日制を契機とした地域教育力活性化に向けた総合的な取組への企画立案等やそれに伴う諸課題について協議する推進協議会を設置すると共に、幅広い関係機関・団体と連携等を行う活動支援センターを設置し、学校教育と社会教育を通じた青少年の奉仕活動・体験活動の推進体制の整備に努めた。

また、地域教育力活性化のための先進的事業として、地域の児童生徒と障害のある児童生徒との交流体験活動を実施した。

・ 青少年の心のシンフォニー

「ハートフル潮風」

- ・ 内容：砂遊び、野外炊飯、地引き網、クラフト等
- ・ 対象：障害のある児童・生徒、小・中・高校生 60人
- ・ 期日：8月18日～19日
- ・ 会場：松島自然の家

(3) 青少年の体験活動・ボランティア活動支援

No	事業名	内容	対象	期日	会場
1	地域教育力活性化モデル事業	再掲	児童生徒	通年	青少年関係施設等
2	青少年長期自然体験活動推進事業	夏期休業中等に、親と離れて1週間程度の自然体験、長期宿泊体験活動等を通して社会性の育成を図る。	児童生徒17人	8月5日～12日 10月6日～8日	NPO法人 冒険あそび場せんだい・みやぎネットワークに委託 仙台市青葉区大倉十里平
			30人	8月1日～7日	蔵王自然の家
			30人	8月5日～11日	松島自然の家
			30人	8月10日～16日	志津川自然の家
3	セカンドスクールの活用事業	児童生徒に豊かな体験の場を提供するために、学校と青少年教育施設との連携・融合を図り、宿泊体験活動についての支援・協力を推進する。	児童生徒411人	通年 5月31日～ 11月16日	松島自然の家
			102人	9月4日～ 10月19日	志津川自然の家
			94人	5月9日～ 10月5日	蔵王自然の家
4	青少年教育施設におけるボランティア活動推進事業	青少年教育施設におけるボランティアの活用を図るとともに養成研修を実施する。	青年成人59人	通年	蔵王自然の家
			25人		松島自然の家

(4) 青年の地域活動支援（青年文化祭、青年体育大会の実施）

No	事業名	内容	対象	期日	会場
1	青年地域活動促進事業	青年の文化活動及びスポーツ活動を軸とした地域活動を推進し、真に豊かな地域社会の創造を目指す。 (1)地方青年文化祭 (2)宮城県青年文化祭 (3)宮城県青年体育大会 (4)全国青年大会	各市町村青年	11月～3月	各教育事務所管内7会場 大崎市鎌田記念ホール 栗原市若柳総合体育館 他 東京都（日本青年館他）
			県内青年	5月27日（日）	
			県内青年	8月4日（土） 8月25日（土） ～26日（日）	
			県青年代表	11月9日（金） ～12日（月）	
2	青年会館研修奨励事業	地域づくりに寄与できる青年の育成と青年団体指導者の資質向上を図る諸事業を実施する。 (1)青年地域交流事業 (2)青少年地域体験活動推進事業 (3)地域教育力支援事業	各種青年 小学4～6年生及び各種青年 県内地域親子	9月 7月、3月 通年	(財)宮城県青年会館

(5) 青年団体への協力・援助

青年団への加入率低迷の中で、団体間連絡の必要性がさげばれ、連絡協議会を結成し8団体が加盟している。

ア 地域青年団

地域青年団は、宮城県青年団連絡協議会をもって代表される。平成19年度登録団員数は、813人となっている。地方青年文化祭、県青年文化祭、県青年体育大会、全国青年大会を中心に協力・援助を行っている。

イ その他の青年団体

地域青年団体以外の青年団体は、次に掲げる通りである。特に宮城県青年の船友の会からは、「少年の船」事業に対して指導団員の派遣など協力・援助をもらっている。

- 宮城県農村青少年クラブ連絡協議会
- 宮城県農協青年連盟
- 宮城県商工会青年部連合会
- 宮城県林業研究会連絡協議会
- 宮城県友愛青年同志会
- 宮城県森林組合青年部連絡協議会
- 宮城県漁協青年団体連絡協議会
- 宮城県青年国際交流機構
- 宮城県青年の船友の会
- 宮城県青年海外協力協会
- 宮城県ユースホステル協会
- 伊達な翼の会

## 第4節 成人教育

### 1 女性教育

#### (1) 指導の要点

女性のライフスタイルの変化に伴う学習要求の多様化に対応した女性教育の学習機会の充実と、婦人学級・女性団体の自主的活動の促進を図った。

#### (2) 市町村における女性教育に関する学級実施状況

○学級講座数 383 参加者数 23,214人

#### (3) 市町村における女性ボランティア養成講座

○講座数 17 参加者数 914人

#### (4) 地域婦人団体の現状

県内では142単位団体、13,943人の会員を有する宮城県婦人団体連絡協議会は、青少年の健全育成、男女共同参画社会の実現、環境保全と資源の有効利用、高齢化社会への対応、世界平和の確立等の実現に努めることを目的とする全国組織を持つ団体である。

宮婦連の自主性を尊重しつつ、求めに応じて指導、助言、援助を行った。

### 2 家庭教育

#### (1) 指導の要点

心豊かなたくましい青少年の育成を目指し、家庭・学校・地域が持つ独自の教育機能の強化に努め相互の連携を図ることを目標とした。

ア 基本的な生活の場である家庭の在り方や、乳幼児期における家庭教育に関する学習の充実に努める。

イ 家庭教育に関する親の学習機会・内容の充実や情報提供などを推進するとともに指導者の確保を図る。

ウ 子供を取り巻くあらゆる人々を対象とし、特に男女が共に参加できる学習の場の提供と、保健衛生・福祉等関係機関との連携に努める。

#### (2) 事業

##### 1 家庭教育子育て支援推進事業

###### ① 趣旨

家庭教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う上で極めて重要な役割を担うものであり、学校教育・社会教育につながる生涯教育の起点でもある。特に心身両面で著しい発達を示す乳幼児期にその発達を促し、調和のとれた子供に育てていくことは親たちの大きな役割であり、果たすべき大きな課題である。

子育てを行っている親等が当面している家庭教育上の諸問題について必要な情報や学習機会を提供するとともに、子供を育てていく上で適切な助言や指導が行える相談体制の整備に努める等、生涯学習の基礎となる家庭教育の充実と振興を図る。

###### ② 実施期間 4月1日～3月31日

###### ③ 事業の対象

親、家族、保育従事者、青少年育成会担当者、社会教育主事、小中学校教諭等、家庭教育に関心をもつ者。これから親になる青年男女。

###### ④ 事業内容

###### ア 家庭教育電話相談

「すこやか子育てテレホン相談」

月～金の10:30～14:30

\*その他 FAXは24時間対応

###### イ 「子育てサポーター養成講座」

期 日 平成19年6月25日～10月25日まで5日間

25時間程度の研修、15時間程度の実技

会 場 宮城県婦人会館

内 容 地域の子育て支援者の養成

受講者 33人（内修了生28人）

##### 2 家庭教育支援総合推進事業（文部科学省委託事業）

###### ① 趣旨

子育てサポーターの資質の向上を図るリーダーの養成、親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供することで、家庭教育の充実に努める。

###### ② 実施期間 6月1日～3月31日

###### ③ 事業の対象

親、家族、保育従事者、青少年健全育成関係者、社会教育関係者、学校教育関係者、家庭教育の関心をもつ者、これから親になる青年男女等。

###### ④ 事業内容

###### ア みやぎ地域家庭教育推進協議会 年5回

期 日 平成19年6月13日、8月30日、10月17日

12月19日、平成20年2月20日

###### イ 子育てサポーターリーダー養成講座

期 日 平成19年9月5日～10月31日まで4日間

受講者 修了生15名

###### ウ 子育てサポーターリーダースキルアップ講座

期 日 平成19年7月24日、平成20年2月6日

対 象 平成17年度子育てサポーターリーダー

###### エ 家庭教育推進事業

家庭教育「<sup>ファミリー</sup>豊楽夢」（2会場で開催、89人参加）

（気仙沼市、美里町）

###### オ 父親の家庭教育参画の支援

県内各地で活動しているお父さんたちのネットワーク化へ向けた支援

（ア）日韓おやじフォーラム2008 inみやぎの開催

（イ）おやじの会を紹介する冊子の作成・配布

（ウ）お父さんの学習会への講師紹介

###### カ 市町村における家庭教育に関する事業・学級

（再委託先31市町村）

（ア）妊娠期子育て講座 (43回)

（イ）就学時健診等の機会を活用した子育て講座 (443回)

（ウ）思春期子育て講座 (88回)

（エ）明日の親になる中・高校生の子育て理解講座 (82回)

（オ）その他 (806回)

（カ）父親のつどい (80回)

### 3 P T A

#### (1) 平成19年度宮城県P T A指導者研修会

##### ア 研究テーマ

(1) 会員の研修活動に関するもの

(2) 学級、学年、地区P T A活動に関するもの

(3) 青少年健全育成にかかわる地域活動に関するもの

##### イ 期日・会場

7月～12月

宮城県P T A指導者中央研修会（仙台市）

宮城県P T A指導者地区研修会

高校6会場、特別支援教育1会場

#### (2) 宮城県P T A連合会の主な事業

##### ア 代議員会（仙台市）

##### イ 宮城県P T A研究会大会塩竈大会

##### ウ 地区セミナー（22会場）

##### エ 単位P T A会長会（南三陸町）

##### オ 機関紙「P T Aみやぎ」の発行

#### (3) 宮城県高等学校P T A連合会の主な事業

##### ア 総会（仙台市）

##### イ 「高P連会報」発行

##### ウ 事務局長研修会（仙台市）

#### (4) 優良P T Aの表彰

##### ア 文部科学大臣表彰（4団体）

・宮城教育大学附属幼稚園父母教師会

・南三陸町立入谷小学校P T A

・宮城県立利府養護学校P T A

・仙台市立五城中学校父母教師会

#### 4 人権教育

- ・平成19年度人権教育指導者研修会

平成21年度PTA全国大会の「人権教育分科会」担当となる、県P連の白石・刈田地区PTA連合会会員を対象に学校・家庭での日常生活において、身近な出来事が人権に関わることであることに気づくとともに、基本的人権はいかに理解されるべきであるかを考え、人権理解の涵養をはかることを目的に開催。

- ア 期 日 1月20日（日）
- イ 会 場 白石市中央公民館
- ウ 内 容 人権についての基調講演，個別問題
- エ 参加者 90人

## 第5節 視聴覚教育

学校・社会教育におけるメディアの積極的な活用を促進するとともに情報化社会に対応する教育内容・方法の充実と開発，人材の育成を図るため，視聴覚教育推進拠点及び推進体制の整備充実と研修の拡充を目標として掲げ，その具体化と実践化に努めた。

### 1 視聴覚教材センター（ライブラリー）の設置状況

#### (1) 県視聴覚ライブラリー

県の視聴覚ライブラリーは，県図書館内に併置され，地域視聴覚教材センター（ライブラリー）間の連絡調整・指導助言と一般県民に対する視聴覚教材等の提供などに努めた。

#### (2) 市町村の視聴覚教材センター（ライブラリー）

地域視聴覚教材センターは，完全公立化（一部事務組合4・単独4・協議会2）され，視聴覚教育推進拠点となっている。人的体制・予算措置などに格差がみられ，事業の展開にも影響がでているので，各センター間の連携を強め相互援助を図る中で視聴覚教育の普遍化を目指し，地域の総合的な学習情報機能をもつよう努めた。

### 2 事業

#### (1) 自作視聴覚教材コンクール

##### ア 事業の目的

視聴覚教材の自作を通じた個人・グループの自主的学習活動の成果を発表する機会を設け，視聴覚センター・ライブラリー機能の拡充と視聴覚教育の振興を図る。

##### イ 事業概要

- ・とき 2月16日（土）
  - ・ところ 宮城県図書館
- 県内10の視聴覚教材センターの予選を経て学校教育及び社会教育の学習教材が出品された。（5部門 29点）

#### (2) 視聴覚教育メディア研修（研修カリキュラムⅡ基礎コース）

「視聴覚メディア研修カリキュラム標準案」に基づいた研修

##### ア 総論・7月27日

##### イ 会場 宮城県図書館 受講者 31人

ウ 内容 教育メディア総論，情報モラルと著作権，メディア教材と学習

# 第6節 宮城県図書館

## 1 平成19年度宮城県図書館基本方針・目標

### (1) 基本方針

県図書館に収蔵される先人の叡智の集積を活用し、未来へ伝えることを通して、宮城の輝かしい発展、活力ある日本の再生に貢献する「22世紀を牽引する叡智の杜づくり」を積極的に進める。

### (2) 目 標

- 1 県図書館の過去70年にわたる「叡智」の集積を最大限に生かし、次代を担う人々に拠って立つ故郷の薫り高い歴史や文化を伝えると共に、全国に発信するための環境整備を行なう。
- 2 生涯学習の拠点・地域の資料保存センターとして必要な資料の収集・保存、継承に努めると共に各種サービスの向上を図る。
- 3 全ての県民が図書館サービスを楽しむことができるように、市町村へ積極的に支援する。
- 4 高度情報社会に対応したサービスの向上を図るため、コンピュータやネットワーク技術を積極的に活用し、図書館サービス網の整備を促進すると共に情報機器を使いこなす能力向上に努める。
- 5 県民の学習・調査研究・企業のビジネス活動・子ども読書活動の推進に努める。
- 6 時代の変化や県民の学習ニーズに対応した生涯学習事業の推進に努める。
- 7 生涯学習・情報発信の中核施設として施設の整備、人材育成等に努める。

### (3) 施策と事業

- 1 22世紀を牽引する叡智の杜づくり
  - (1) 古絵図・古地図・貴重図書の修復・保存
  - (2) 国・県指定文化財のデジタル化及びレプリカ作成
  - (3) 国・県指定文化財のインターネット公開
  - (4) 宮城県図書館貴重資料の宮城県文化財指定に向けての環境整備
  - (5) 次世代を担う人材育成のために、貴重資料、古典、名作等の複製資料の高等学校等での移動展示
- 2 図書館資料等の整備充実・利活用
  - (1) 図書館資料の広範な収集及び整備保存の充実
  - (2) 図書館サービスの充実
- 3 調査研究と相談機能の充実及び生涯学習機会の提供
  - (1) レファレンスサービスの充実
  - (2) レファレンス事例集等の作成配布
  - (3) インターネット等による調査研究機能の整備
  - (4) 図書館ボランティア活動の支援
  - (5) 各種講習会、上映会、子どもの本展示会、おはなし会・紙芝居上演会等の開催
  - (6) みやぎ子ども読書活動推進計画に基づく学校支援、総合的な学習への支援
- 4 市町村図書館等への活動支援と職員研修の充実
  - (1) 図書館資料の協力貸出事業の推進と公共図書館連絡会議の開催
  - (2) 図書館の整備・運営に関する助言
  - (3) 公共図書館等職員研修会等の開催
  - (4) 図書館間の相互協力体制の強化と充実
  - (5) 宮城県図書館協会、北日本図書館連盟等との連携・協力
- 5 宮城県図書館情報ネットワークシステムの整備・充実
  - (1) 図書館情報ネットワークシステムの拡充
  - (2) インターネットでの蔵書検索サービス等の提供、ホーム

ページの公開、インターネット端末の館内利用

### 6 生涯学習事業の推進

(1) 生涯学習相談事業の実施

### 7 管理・運営体制の充実

- (1) 施設設備の整備
- (2) 各種媒体を活用した広報活動の充実
- (3) 職員の資質向上
- (4) 宮城県図書館協議会の開催

## 2 事業予算

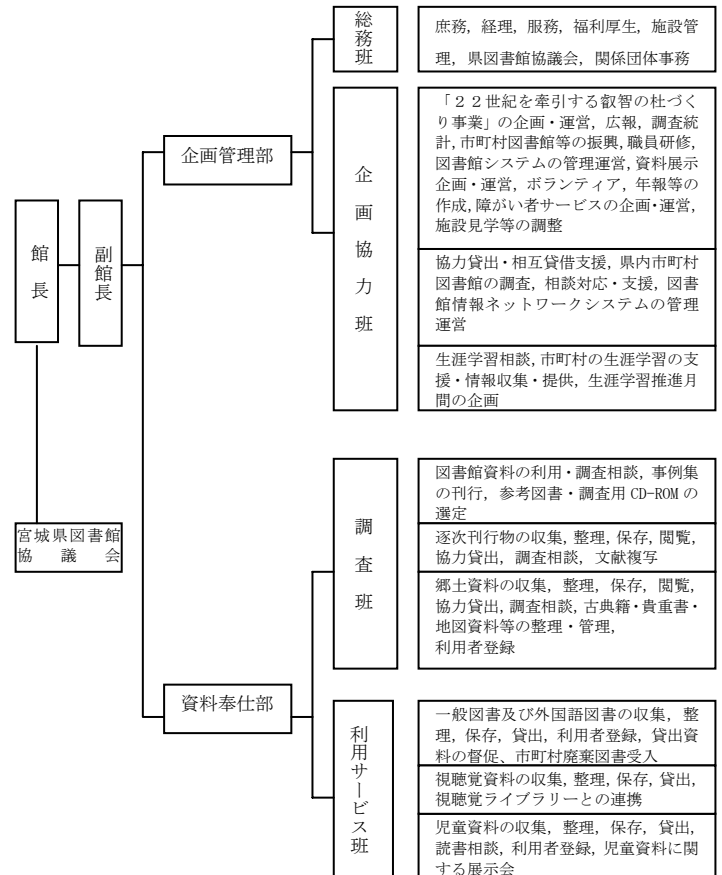
(単位：千円)

区 分	当初予算額	概 要
管 理 経 費	242,336	本館の運営維持費 (定員内職員の人件費を除く)
図 書 館 協 議 会	434	図書館協議会運営費
図 書 館 運 営 費	15,384	機器使用料、消耗品等に要する経費
市 町 村 支 援 費	54,859	市町村図書館・公民館図書室の支援に要する経費
企 画 広 報 費	1,000	主催事業、広報等に要する経費
資 料 購 入 費	53,694	資料購入費
貴重資料保存修復事業費	15,924	本館所蔵貴重資料の保存及び修復に要する経費
合 計	383,631	

## 3 職員組織及び事務分掌

### (1) 組織及び事務分掌

(平成19年4月1日)



(2) 職員数 ( ) : 司書・司書補有資格者内数

職名	館長	副館長	部長	次長	主任主査	主査	主事	計	嘱託	相談員	臨時職員	計
人数	1 (0)	1 (0)	2 (0)	3 (1)	4 (1)	3 (3)	9 (2)	17 (9)	40 (16)	16 (15)	2 (2)	22 (17)

4 宮城県図書館協議会

(1) 第28次宮城県図書館協議会委員名簿

(任期：平成18年3月1日～平成20年2月29日)

氏名	役職名	備考
1 秋月 治	宮城大学事業構想学部教授	
2 佐藤 敏国	仙台市民図書館長	
3 石田 義光	東北学院大学文学部教授	会長
4 遠藤 幸生	宮城県古川黎明中学高等学校長	
5 野家 啓一	東北大学副学長・附属図書館長	
6 渡辺 好子	公募	
7 関口 裕子	ハートandアート空間B E I 代表取締役	
8 永野 為和	河北新報社取締役	副会長
9 二瓶瑠璃子	加美町中新田図書館副館長	
10 齊藤 弘子	NHK泉文化センター講師	

(2) 第28次宮城県図書館協議会開催状況

第1回 平成19年6月29日(金)

・報告事項 平成18年度利用状況及び平成19年度主要事業について、「宮城県図書館サービス計画の策定」について

第2回 平成19年10月4日(木)

・協議事項 「宮城県図書館振興基本計画」策定(案)について

・報告事項 文部科学省モデル事業「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト」について、「音と映像のフロア」視聴ブースの今後の在り方について

第3回 平成20年2月28日(木)

・協議事項 文部科学省モデル事業「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト」について、「音と映像のフロア」視聴ブースの廃止について

(3) 平成19年度宮城県公共図書館協議会連合会代表者会議

期日 平成19年11月9日(金)

・情報交換

各協議会活動状況の紹介

予算縮減に伴う各図書館の取り組み

図書が無断持ち去りに対する各図書館の取り組み

5 実施事業の概要

(1) 企画協力班

イ 「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」

・「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト—宮城県図書館を核とした次世代育成の試み」は平成19年度文部科学省「地域の図書館サービス充実支援事業」のモデル指定を受け、平成16年度から実施してきた本事業の成果を踏まえて、これまで以上に地域への広がり、学校との連携を目指し、地域に役立つ図書館の在り方を探った。本プロジェクトは「宮城県図書館・叡智の杜づくり」実行委員会(委員長は東北工業大学教授・矢内諭氏。委員7名)が実施主体となり、企画協力班が事務局を担当し、事業の企画立案、「報告書」の発行、普及啓発誌『みやぎの叡智—宮城県図書館所蔵貴重書の世界—』の編集、発行などを行った。

・平成16年度から実施してきた、本館総合戦略プロジェクト「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」の事務局として、本事業の2つの柱である「貴重資料保存修復事業」と「次世代育成プロジェクト」の企画立案、運営を行った。全職員参加のもと、市町村図書館、公民館図書室、学校、地域社会との連携を図りながら事業を推進する取り組みを行った。

ロ 広報活動

・宮城県図書館だより『ことばのうみ』第25号から第27号まで、年3回発行し、一般県民をはじめ県立学校、大学等の関係機関及び全国都道府県図書館等に配布した。

・ホームページでは、平成20年2月、第3次宮城県図書館情報ネットワークシステムの更改により、よりわかりやすい情報提供をするために画面デザイン等をリニューアルした。

・地元FM局(エフエムいづみ)で毎月第二木曜日の地域情報コーナーに本館職員が出演し、企画展・イベント等の広報を行った。

・一般県民の施設見学、小中学校・高等学校の児童・生徒による調べ学習、職場体験などを行い、64団体(延べ1,432人)を受け入れ、図書館理解と利用の促進を図った。

ハ 市町村図書館・公民館図書室等への支援

・県民の図書館サービス享受を実現するために、市町村図書館・公民館図書室への資料提供(本館所蔵資料の協力貸出)を行った。協力貸出冊数は23,872冊で、県内市町村図書館・公民館図書室等に22,514冊を貸出し、前年度比3.0%減となった。

・協力貸出資料(相互貸借資料を含む)は、宅配便により、各市町村図書館、公民館図書室等に宛てて、毎週水曜日(年間49回)に発送した。

・市町村図書館の運営支援、情報提供のための巡回相談事業は、20館を対象に、各館あたり年間3回の巡回を基本とした。巡回コースは20館を7コースにわけて実施し、延べ21日間行った。

・市町村図書館との連携を強化するため、公共図書館連絡会議を2回(5月と11月)開催した。会議では、地域性を活かした実践例の紹介や図書館サービスの現状と課題について、また宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NE T)活用方法等についての協議も行った。

ニ 市町村図書館・公民館図書室職員研修会

・市町村図書館及び公民館図書室職員等の資質の向上と専門知識の習得等を図るために、初任者研修会、公共図書館等館長研修会、職員研修会1・2、公民館図書室担当職員研修会を開催した。職員研修会1は、美里町小牛田図書館と亙理町立図書館を会場として、レファレンスサービスのワークショップを実施した。

ホ 宮城県図書館情報ネットワークシステム(MY-NE T)の整備・充実

・MY-NE Tの参加館は41館(図書館29+公民館8+高等学校4)となった。インターネット公開の県内総合目録は参加館16館となっている。

ヘ 図書館未設置町村への図書館振興策

・図書館の設置や利用促進の気運を醸成するために、5月の「図書館振興の月」にちなんで、松島町において宮城県図書館振興講演会を開催した。地元松島町の読み聞かせグループ「おはなしころころ」によるおはなし会をはじめ、協力貸出や音訳サービスのデモンストレーション、本館貴重資料(レプリカ)展示会なども行った。

ト ボランティア活動支援

・社会教育施設でのボランティア活動の機会を広げるために、ボランティア募集を行った。新規登録は71人で、ボランティア登録者は延べ150人となった。全体研修会のほか、活動内容ごとの専門講座として、一般書架整理(登録者40人)、児童書架整理(同12人)視聴覚整理(同20人)、読み聞かせ(同20人)、音訳(同30人)、図書館案内(同28人)を実施した。

・本館ボランティア活動がスタートしてから10周年を迎えることを記念して、2月に「ありがとう!10周年 ボランティア感謝の集い」として、感謝状の贈呈式と記念講演を実施した。

・平成18年度にボランティア登録年限制度(一般2年間、音訳4年間)を採用して、初めての登録年限満了者が58名あった。

チ 生涯学習相談業務

県民の主体的・自発的な学習活動を支援するため、必要な

情報を提供するとともに、学習者が直面する様々な問題や悩みの解決に向けて助言等を行った。相談件数は年間973件(面接相談746件、電話相談227件)で、生涯学習室への入室者数は3,851人となった。

リ 生涯学習推進月間事業

10月の1ヶ月間を通して、宮城県図書館の特徴を生かしながら生涯学習に関する7種類の行事を行った。古典講座「伊勢物語」、オーストラリアワイルドフラワー作品展、古典教室など、多くの県民の方々にご参加いただいた。

(2) 調査班 調査相談担当

イ レファレンス業務

・利用統計

今年度の個人レファレンス総件数は12,796件で前年度比約7%増となった。依頼内容については広範囲に及んでいた。図書館間の協力レファレンス依頼は、県外1件を含む79件(前年度比約30%減)となった。件数の減少の原因としてはインターネットの普及と利用が考えられる。

ロ 協力借受

利用者の希望により、県内外からの本の借受件数は873件であった(県外163件を含む)。この中には、郵送貸出者(障がい者サービス利用者)への郵送24件を含む。

ハ データベースの利用

データベースの利用は前年度比18%減の485件だった。最も利用頻度が高いのが東京商工リサーチの『CD・Eyes50TSR企業情報ファイル』だった。今年度は「データベース講習会」としてこの『CD・Eyes50TSR企業情報ファイル』の利用講習会を5回開催した。

インターネット利用端末は合計4台で利用件数は7,781件でこれは端末機1台/日当たり6.7回の利用状況になる。

(3) 調査班 逐次刊行物

イ 整理状況

- ・継続受入タイトルとして、2,811タイトル(購入814タイトル、寄贈1,997タイトル)を受け入れ、整理した。
- ・地域の資料保存センターとして、県内市町村図書館からの移管雑誌を521タイトル、4,904冊受け入れ、整理した。
- ・資料費の削減に対応して、2008年1月から外国雑誌(19タイトル)の購入を中止した。また、新聞のマイクロフィルム購入を一部見合わせた。

ロ 利用状況

- ・調査相談件数(館内案内含む)は口頭・電話・Eメール・FAX等合わせて1,830件で、前年度比1,953件の減となった。
  - ・閉架書庫資料の出納冊数は4,271人(件)55,490冊(前年度比7,127冊減)、複写枚数(マイクロフィルムからの複写を含む)は56,952枚(前年度比2,139枚減)となった。
  - ・データベース利用件数は河北データベースが208件(前年度比98件減)、朝日新聞データベースは161件(前年度比15件減)、官報は32件(前年度比1件増)、雑誌記事索引・企業情報等のCD-ROMが155件(前年度比23件減)の利用があった。
  - ・当館で所蔵していない資料の他館(国立国会図書館・大学図書館等)への複写依頼件数は448件(前年度比73件減)だった。また、他機関から当館への依頼は237件(前年度比258件減)だった。
  - ・障がい者サービスでは、新聞のコラム、川柳、経済指標、テレビ・ラジオ欄、将棋および週刊誌の記事の電話音訳が延べ130人(前年度比7人減)、点字雑誌の貸出利用は延べ49人122冊(前年度比3人増・4冊増)となった。
  - ・マイクロフィルムリーダー・プリンターの利用者は延べ1,119人(前年度比170人減)だった。
- ハ その他
- ・今年度も県内公共図書館の逐次刊行物の購入状況を調査し、「県内公共図書館 雑誌・新聞購入一覧」を作成・配付した。

・ビジネス支援コーナーについては引き続き、関係機関・団体、金融機関等から資料を収集・配架し、コーナーの充実に努めた。

・各種企業・団体のCSR報告書330社分(前年度比件40社分増)を収集し、配架した。

(4) 調査班 みやぎ資料室

イ 宮城県指定有形文化財指定

・以下の本館所蔵資料が県指定有形文化財に指定された。(平成19年10月26日)

書跡典籍

『奥羽観蹟聞老志』	20冊
『風土記御用書出』	66冊

ロ 貴重資料専門調査事業

・文化財指定に向け、5名の専門調査員による本館所蔵資料の詳細な調査・評価を行い、報告書を作成した。調査は延べ19日間実施した。

ハ 整理状況

- ・図書は1,703冊(購入531冊、寄贈1,172冊)、地図は11枚(購入)を整理した。
- ・逐次刊行物は、継続タイトルの整理に加えて、新規に雑誌・新聞207タイトル、行政資料21タイトルを受け入れ整理した。

ニ 利用状況

・調査相談件数

調査の内容は郷土史や地誌に関するものが多く、県内のみならず全国からも多数の照会があった。

依頼区分	口頭	電話	文書	メール	協力レファレンス	計
件数	6,966件	807件	71件	99件	45件(県内25, 県外20)	7,988件

注:「協力レファレンス」は県内公共図書館・公民館図書室からと県外図書館からの調査相談

ホ 資料の利用状況

- ・閉架書庫資料の利用は図書2,578冊(古書複製本含む)、逐次刊行物2,492冊、古書2,455冊になった。
- ・複写サービス(マイクロフィルム、カラーコピー含む)の利用は7,851冊で56,448枚。資料保存上電子複写ができない古書等の写真撮影(カメラは利用者持参)は34人、104冊、2,535コマだった。
- ・古書の特別利用は合計148件1,790冊に上った。博物館等の展示への特別貸出は24件182冊、出版物への掲載等85件269冊、写真撮影30件825冊、テレビ放映等が9件514冊だった。
- ・資料の利用状況
- ・逐次刊行物の蔵書点検、冊数調査をした(総冊数116,808冊)。

(5) 利用サービス班 一般図書

イ 利用状況

- ・個人利用者の年間新規登録者数は9,671人で、年度末現在の登録者総数は、235,205人になった。
- ・今年度の貸出冊数は542,020冊となり、前年度より16,499冊減少した。
- ・障がい者サービスとしての一般図書の郵送貸出は、年間297件1,100冊の利用だった。

ロ 資料整理状況

・購入8,841冊、寄贈1,731冊の受入・整理を行った。

ハ その他

- ・職場体験学習は、中学校7校・高等学校3校・特別支援学校2校計34人の生徒を受け入れた。  
※職場体験学習の受入件数等については、図書館で受け入れた総数を掲載したもの。
- ・特別整理期間には、本棚の整理や清掃を実施した。
- ・3階フロアに自動貸出機を2台設置し、2月下旬から運用を開始した。
- ・月毎、職員による本の紹介(「私の一冊」)をした。(年間



12回)

- ・新着図書に付随する帯を文学・ノンフィクション等に分け掲示し紹介した。
- ・新たに受け入れた本の目録（「新刊図書等のご案内」）を作成し紹介をした。（年間40回）

(6) 利用サービス班 視聴覚資料

イ 利用状況

平成19年度の個人貸出点数は175,553点（平成18年度192,006点）で、昨年度と比べ16,453点の減となっている。開館日1日あたりの貸出点数は609.6点で昨年度と比べ64.1点の減となっている。媒体別に見ると貸出点数の45.7%がビデオテープ、49%がCD、4%が楽譜となっている。

20年3月から当初100点で貸出しを始めたDVDは、順次貸出点数を増やし、3月末で400点となった。利用点数を一人1点としているため、一日約15～20点の利用数だが、20年度内には、800点を目標に準備を進め、利用率を伸ばしていきたいと考えている。

障害者サービスとしての朗読テープ、ビデオ、CDの郵送貸出数は1,669点で、前年度比257点の増になり、ここ数年利用率が増加している傾向である。

ロ 資料整理状況

今年度の購入資料点数は306点で、DVD（176点）、ビデオテープ（9点）、カセット（120点）を中心に県民の学習ニーズ、教育の今日的課題、保存の必要性（郷土資料を含む）の視点から収集、受入・整理を行った。また、寄贈資料を含め、589点の整理を行った。

ハ 館内視聴サービス

本年度の利用状況は下表のとおり。利用者数で前年度比12,031人減となっている。開館1日あたりの利用者数は約110名。開館当初から続いていた館内視聴システムは、20年1月末をもって全面廃止となった。10年間の利用者数の合計は、456,636人にのぼった。

館内視聴システム廃止に伴い、今後はこれまで館内上映に使用していたDVDの個人貸出を可能な限り実施していく。

年度	受付総数 (件)	資料別内訳						利用者数 (人)
		ビデオ	LD	CD	CD-ROM	DVD	その他	
19	22,252	8,619	932	56	105	12,497	43	31,623
18	32,391	12,534	1,253	164	152	18,252	36	43,654
17	32,999	12,740	1,222	126	230	18,647	34	45,319
16	35,077	13,487	1,517	216	354	19,464	39	48,331

ニ 上映会、LDコンサート

年間50回の上映会を実施し、479人の参加者があった。1回当たりの参加者数は9.6人。

ホ 音楽鑑賞講座

クラシック音楽に関する講義と鑑賞、在仙演奏家によるミニコンサートを併せて実施した。110名の申込があり、90名の参加があった。

ヘ その他

11月からの特別展において、「県図書館と視聴覚資料」というテーマで、ナトコ映写機とCIE配給16mm映画を中心とした資料展示を行った。

また、宮城県視聴覚ライブラリーとして、宮城県視聴覚教育連絡協議会に参加し、「宮城県自作視聴覚教材コンクール」の運営支援を行った。

(7) 利用サービス班 児童資料

イ 利用状況

- ・就学前の子どもの登録は883人で、前年度に比べて730人の減となった。
- ・学校からの文書による申請があった「調べ学習」は、中学校3校、延べ235人の利用があった。また、「職場体験学習」は、中学校5校、高等学校は2校、特別支援学校2校、延べ25人の受入をした。

- ・児童文化資料（宮城県立保育専門学院からの寄贈）の貸出は、29団体、延べ177点の利用があった。

ロ 資料整理状況

- ・寄贈本等の受入をした。
- ・配架区分の見直しをして、書庫出納作業の効率化を図った。（こども書庫2の設定）

- ・児童資料研究室書架の配架方法を見直し、配架スペースを拡充させた。

ハ 行事・その他

- ・第38回子ども本展示会を4月25日～5月6日まで開催し、延べ796人の入場者があった。また、県内公共図書館・公民館図書室のうち希望機関への移動展示会を行い、19会場で延べ4,853人の入場者があった。
- ・小学校への移動展示会は、希望校59校で開催、入場者は14,861人。
- ・「ブックツリーカード」読書記録カードの配布をした。
- ・「おすすめの本1冊」を募集、年4回子ども図書室に掲示紹介をした。
- ・職員による「おはなし会・紙芝居の上演会」を月1回、実施した。
- ・こどもの本展示会の期間中に展示会場に「1年間に貸出しの多い絵本と読み物の本の紹介」を掲示した。また、展示会終了後、こども図書室に掲示した。
- ・月1回発行の子ども図書室だより「子どもの森・本のいずみ」を手作りで発行（92号～103号）しました。また、号外として「子どもの森・本のいずみプラス」を発行し、新しく入った本を紹介した。来館者及び県内図書館等に配布し、ホームページにも紹介をした。

6 22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業

(1) 事業の概要と平成19年度の実績

この事業は、宮城県図書館に継承された知の集積を活用し、次代を担う人たちに自信と誇りをもって語れるふるさとや日本の歴史や文化をしっかりと伝えていこうとする、総合戦略プロジェクトである。「貴重資料修復保存事業」と「次世代育成プロジェクト」の2つの部門に合計12のメニュー（事業）を設け、平成16年度を初年度に15カ年の長期計画を立てている。

「貴重資料修復保存事業」は、①貴重資料の体系的学術調査、②国・県有形文化財の指定に向けた準備、③修復保存・レプリカの作成、④修復成果品・レプリカの公開の4つのメニューで構成されている。

本館特殊コレクションである「伊達文庫」「養賢堂文庫」「青柳文庫」等の古典籍（総計約57,500冊；和古書およそ38,000冊、漢籍・韓書19,000冊、古洋書500冊）などの貴重資料を対象に実施し、平成19年度には『奥羽観蹟聞老志』（1件20点）と『風土記御用書出』（1件66点）が県有形文化財の指定を受けた。本事業の成果は3月に本館で展示会を開催し、一般公開をした。

「次世代育成プロジェクト」は図書館の知的財産、人的資源を活用し、22世紀のふるさと・みやぎを牽引する人材を育てようとする事業で、①古典・浮世絵への誘い（対象：高校、市町村）、②名作への誘い（同）、③子どもの本の移動展示会（市町村、小・中学校）、④文化財レプリカの移動展示会（高校・市町村）、⑤閉架書庫の見学（市町村、学校司書）、⑥本館紀要『叡智の杜』への市町村、学校司書の参加（市町村、学校司書等）、⑦貴重図書等の企画展示会（一般）、⑧プロジェクト22（一般）など8つのメニューで構成される。これらのメニューの実施にあたっては、それぞれ図書館、教育現場、地域社会への3者による連携を描いている。

また、平成19年度、本事業は文部科学省「地域の図書館サービス充実支援事業」のモデル指定を受け、「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト—宮城県図書館を核とした次世代育成の試み」として、白石市図書館、松山高等学校、登米市教育委員会、登米地方振興事務所を地域拠点とした連携を展開し、地域モデルの開発を行った。

## (2) 貴重資料の修復・保存プロジェクトー4つのメニューのあらし

### イ 貴重資料の体系的学術調査

平成15年度を初年度として第1次調査が実施され、『禽譜』『関算四伝書』等についての評価を行い、報告書を作成した。平成19年度の第5次調査では、東亜大学教授・川村博忠氏ほか計5名の専門調査員により、『国絵図』、和算関係資料、郷土資料などを対象に調査、報告書を作成した。

### ロ 国・県有形文化財の指定に向けた準備

本館所蔵貴重資料を対象に、イの「貴重資料の体系的学術調査」の調査報告等に基づき、国・県有形文化財指定への準備を進めるものである。平成19年10月には、『奥羽観蹟聞老志』と『風土記御用書出』の2件86点が県有形文化財に指定され、平成20年3月末現在、国・県を併せた文化財（登録文化財を含む）の指定件数は32件7,871点となっている。

### ハ 資料の修復・保存とレプリカの作成

本館所蔵貴重資料の損傷を修復し、写真撮影、高精細画像データとレプリカを作成するもので、平成16年度から15カ年の長期計画により進めてきた。平成19年度は『仙台領国絵図』『仙台領際絵図』（福島梁川領境）の2舗を修復し、また『陸奥国仙台領海際絵図』1舗のレプリカを作成した。合わせて写真撮影を行い、デジタルデータ（画像）も制作した。

### ニ 修復成果品・レプリカの公開

「貴重資料修復保存事業」の成果と意義、及び貴重資料の価値を広く県民に公開することを目的に、本館展示室において修復成果品やレプリカの展示会を実施するとともに、本館ホームページでデジタルデータを公開している。平成19年度は、『禽譜』『魚蟲譜』『仙台領内道程絵図』等のレプリカ展示会を本館で行った。展示用に作成した『環海異聞』『宮城県漁具図解及び略解』の写真パネルもあわせて展示した。

## (3) 次世代育成プロジェクトー8つのメニューのあらし

### イ 「古典・浮世絵への誘い」ー県内高等学校等を会場とした古典文学複製本の巡回貸出ー

高等学校の授業にも登場する『源氏物語絵巻』『徒然草』等、古典文学の複製資料約5点を1セット（全7セット）とした貸出を実施するもの。

平成19年度は、登米高等学校、宮城県第二女子高等学校など6校に貸出し、また図書館他施設では登米公民館（登米市）、加美町中新田図書館、白石市図書館など5施設に貸出しました。

「浮世絵への誘い」としては、『東海道五十三次』『富嶽三十六景』等の複製資料を1セット（全14セット）として、図書館他施設に3施設、県立高校では上沼高等学校、迫桜高等学校など5校に貸出し、学校行事等において展示会が開催された。

### ロ 「名作への誘い」ー県内高等学校等を会場とした近代文学複製本の巡回貸出ー

夏目漱石の『吾輩は猫である』、茶川龍之介の『羅生門』、石川啄木の『悲しき玩具』等、近代文学を代表する作品（初版本）の複製本40冊を1セット（全2セット）とした貸出を実施するもの。

平成19年度は仙台東高等学校と涌谷高等学校の2校に貸出した。

### ハ 「子どもの本の移動展示会」

現在、本県では子ども読書活動推進計画を実施しており、同計画の趣旨を踏まえ、次代を担う子どもと本との出会いの機会を、より多くつくる試みである。

平成19年度は、市町村図書館、公民館図書室では計19館で開催され、入場者数は4,853人、また小学校59校でも開催され、入場者数は14,861人となった。

### ニ 「文化財レプリカの移動展示会」ー県内高等学校・市町村図書館等を会場とした文化財レプリカの移動展示会ー

本館貴重資料・文化財レプリカの移動展示会を、県内高等学校、市町村図書館等を会場に開催するもの。

平成19年度は、美里町近代文学館、加美町小野田図書館など14会場において、『坤輿万国全図』『禽譜』等レプリカの展示会を開催した。佐沼高等学校、松山高等学校では、文化財レプリカを活用した行事が実施された。中田生涯学習センターでは、移動展示会に伴い、本館館長による出前講座も行った。また、人事交流

を契機として、秋田県立図書館所蔵の貴重資料（レプリカ）展示会を本館で開催し、展示解説、記念講演会等も行った。

### ホ 「閉架書庫の見学」ー市町村図書館・県内高等学校の司書等を対象とした閉架書庫見学ー

県内高等学校の図書館司書等を対象に、教育の場において、約100万点に及ぶ本館資料の活用を促すことを目的に、本館職員の案内のもとで閉架書庫の見学を行っている。

平成19年度は、宮城県松山高等学校の教員と生徒計12名のほか、山形県立山形工業高等学校、宮城県高等学校図書館研究会司書部会職員など8団体、計180名が閉架書庫を見学し、本館資料と機能についての理解を深めた。

### へ 宮城県図書館紀要『叡智の杜』への寄稿ー市町村図書館・県内高等学校の司書による寄稿ー

市町村図書館職員、学校図書館司書との連携を強化し、相互にレベルアップを図るため、論文、研究レポート、読書活動の事例報告などについて、本館紀要『叡智の杜』への寄稿をしていたくもの。

『叡智の杜』は平成15年度に創刊され、平成19年度の第5号においては、「蔵王町立図書館事業報告」（蔵王町立図書館司書）、「古典への誘い展 国宝（複製）の絵巻物をみてみよう」（登米高等学校司書）等、11名から寄稿があった。

### ト 貴重資料等の企画展示会

本館展示室を会場として、国・県の文化財指定を受けた貴重資料等の特別展示会「きらめく叡智と美のしづく展」を、シリーズで開催している。平成19年度は第7回目の特別展示会として、県指定有形文化財『奥羽観蹟聞老志』と『風土記御用書出』等の展示を行った。

また、平成16年度に本館職員の自由な発案を活かした企画展示会をスタートさせたが、平成19年度は、『図書館式タイムトリップ バックトゥ1987』『韓くにの風にふかれて』等、7回の開催となった。

### チ 「プロジェクト22」ー宮城県図書館活用推進事業ー

平成16年度にスタートした新規プロジェクトで、図書館職員が日々の業務を通して培った知識・技能をもとに、図書館資料、施設を活用して各種の行事を企画、運営するもの。本館職員によるチーム（各3～6人）を編成し、次のような行事を実施した。

#### ▽Aチーム：「アヒルと左吾平」～スクリーンの中の宮城～

宮城県は豊富な自然や歴史・文化遺産など優れたロケーションに恵まれ、映画やドラマなど数多くの映像制作のロケ地として利用されている。映像として切り取られた資料から、作成当時の郷土の姿を浮き彫りにすることをねらいとし、宮城で撮影された「アヒルと鴨のコインロッカー」のロケ風景や、撮影場所地図、地域資料の展示とともに、「三尺左吾平」など戦中の映像資料、図書等の展示を行った。8月4日から10月4日までの企画展として実施した。

#### ▽Bチーム：「Exlibris 消しゴムはんこで蔵書票を作ってみよう」～大切な1冊にさらなる愛情を～

蔵書票とは“自分が所蔵する本であること”を示すために、愛蔵書の見返しに貼る紙片である。ヨーロッパでは15世紀中頃に始まり、日本では1900年に雑誌『明星』で紹介された。蔵書票には、“紙の宝石”と呼ばれる芸術的な面と、本を慈しむ愛書の二面性を持っている。本を取り巻く様々な歴史を蔵書票づくりを通して解説し、本の貴重さ大切さを再認識してもらうことをねらいとして11月に実施し、9名の参加があった。

#### ▽Cチーム：「おらほの方言紙芝居『きてみてけらいん』」

現在、耳にする機会の減ってしまった地元「みやぎ」に伝わる方言を、紙芝居の読み聞かせ上演を通して親しんでもらうことをねらいとした。昔懐かしい街頭紙芝居（複製）も同時展示した。11月に実施し、参加者は41名。

#### ▽Dチーム：「鯨にまつわるエトセトラ」

県政ニュースの映像から宮城沿岸での捕鯨の様子を紹介するほか、メンバー6名からは鯨に関するテーマ（捕鯨の歴史、工芸品、『鯨』という漢字、座礁、食文化、野球）を発表し、様々なアプローチを試みた。12月に実施し、16名の参加があった。

以上、「プロジェクト22」の4つの企画に加えて、前年度の成果を踏まえて、「図書館ツアー」を定例化して隔月実施した。図書館ツアーは計5回で、延べ54名の参加があった。「データバー

ス講習会」は各5回実施し、延べ11名が参加した。  
「プロジェクト22」における取り組みは、県民の図書館理解を促す機会となったが、同時に職員の意識向上、組織の活性化を図る好機ともなった

(4) 文部科学省モデル事業「22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト—宮城県図書館を核とした次世代育成の試み」

22世紀を牽引する叡智の杜づくりプロジェクト（以下「叡智の杜プロジェクト」）は、平成19年度文部科学省「地域の図書館サービス充実支援事業」のモデル事業として企画、実施した。本プロジェクトのねらいは、本館と関係機関が協力して、次代を担う人たを育成すべく、それぞれが集積、保存してきた資料の活用策を探り、さらに、図書館員の意識改革と資質、能力の向上につとめ、地域に役立つ図書館づくりの推進を図ることである。叡智の杜プロジェクトは、次の5事業を柱に実施した。

イ 地域サービス推進事業

登米市域において学校、行政、公民館が連携して「叡智の杜展示会&セミナー」を開催し、地域の歴史、「みやぎの叡智」を再発見する多彩な試みを行った。

開催期間	会場	内容
11月3日(土) ～11月4日(日)	登米公民館	叡智の杜展示会、館長出前講座
11月6日(火) ～11月12日(月)	中田生涯学習センター	叡智の杜展示会、館長出前講座
11月13日(火) ～11月20日(火)	石越公民館	叡智の杜展示会
11月21日(水) ～11月27日(火)	米山公民館	叡智の杜展示会
12月5日(水) ～12月13日(木)	登米市合同庁舎	叡智の杜展示会&セミナー
12月～2月の 毎月第3日曜日	米川公民館	館長出前講座
2月21日(木) ～2月25日(月)	登米市東和総合支所	叡智の杜展示会、館長出前講座

ロ 学校支援推進事業

学校図書館が地域に開放された図書館サービス拠点として機能することを目指して、宮城県松山高等学校を地域拠点として、教員や学校図書館司書との連携による「叡智の杜展示会&特別授業」を行った。

開催期間	会場	内容
8月26日(日) ～9月4日(火)	米山高校	叡智の杜展示会
8月30日(木) ～9月11日(火)	登米高校	叡智の杜展示会
10月9日(火) ～10月20日(土)	松山高校	叡智の杜展示会
10月11日(木) ～10月20日(土)	上沼高校	叡智の杜展示会
10月15日(月)	松山高校	『坤輿万国全図』を活用した社会科授業
10月24日(水) ～10月31日(火)	佐沼高校	叡智の杜展示会
11月6日(火)	松山高校	家政科、保育コース生徒を対象とした特別授業

ハ 地域プロジェクト支援事業

地域版「叡智の杜」プロジェクト開発・実施を目指し、白石市図書館を地域拠点として地域の歴史・文化資料の掘り起こしによる「叡智の杜展示会&セミナー」の開催、次世代への啓発活動を行った。

開催期間	会場	内容
11月	白石市図書館	地元作家を知る月間(白石出身作家の資料展示、関連講演会)
12月2日(日)	白石市中央公民館	読み聞かせ&講演会
12月8日(土) ～12月14日(金)	白石市図書館	叡智の杜展示会
12月22日(土)	白石市図書館	白石歴史おはなし会

ニ 人材育成事業（「叡智の杜」チューター研修）

叡智の杜づくりを効果的に推進するために、セミナー・特別授業などの実践者や講師（＝チューター）を対象に、図書館のあり方や資料等についての研修、情報交換などを行った。

開催期間	会場	内容
11月6日(火)	松山高校	家政科、保育コースのある県立高校職員を対象とした特別授業の参観
11月30日(金)	宮城県図書館	職員を対象とした『環海異聞』研修会

ホ 普及啓発事業（『みやぎの叡智—宮城県図書館所蔵貴重書の世界—』の刊行、事業報告書の刊行）

「叡智の杜づくり」を効果的に進めるために、叡智の杜展示会&セミナー、特別授業等で活用する普及啓発誌『みやぎの叡智—宮城県図書館貴重書の世界—』を編集し、発行した。また、叡智の杜プロジェクトの成果を報告書として発行した。

・実行委員会

開催期間	会場	内容
8月10日(金)	宮城県図書館	第1回(役員選出等)
11月6日(火)	松山高校	第2回(事業視察)
3月7日(金)	宮城県図書館	第3回(事業報告)

7 平成19年度図書館資料利用状況等（統計）

(1) 受入資料一覧表

図書・視聴覚資料

(現在高 = 平成20年3月末の蔵書数)

区分	購入	寄贈	その他	合計	除籍等	引増減	現在高
一般図書	8,831	1,730	226	10,787	1,100	9,687	650,876
洋書	10	1	0	11	7	4	17,037
ハングル資料				0		0	1,299
中国書				0		0	5,795
郷土資料	542	1,172	0	1,714		1,714	56,054
和古書				0		0	38,417
漢籍				0		0	18,886
地図資料				0		0	9,595
貸出用児童書	2,339	13	1,506	3,858	1,246	2,612	62,640
保存用児童書	2,549	24	1,949	4,522	154	4,368	87,214
貸出用紙芝居	6	0	0	6		6	731
街頭紙芝居				0		0	5,333
教育紙芝居				0		0	1,473
電子図書				0		0	922
マイクロフィルム	178	12	0	190		190	16,507
館外用図書				0	6,819	-6,819	3,597
図書資料小計	14,455	2,952	3,681	21,088	9,326	11,762	976,376
16mmフィルム				0			1,683
録画テープ(Uマチック)				0			24
録画テープ(ベータ)				0			30
録画テープ(VHS)	9	6	0	15	27	-12	14,293
8mmフィルム				0			18
CD-ROM(主に映像)				0			341
レコード				0	4,551	-4,551	1,320
コンパクトディスク	0	31	12	43	14	29	15,925
楽譜	1	14	1	16	1	15	10,652
レーザーディスク				0	1,392	-1,392	950
DVDビデオ	176	28	0	204		204	2,131
カセットテープ	120	0	0	120		120	4,553
オープンリールテープ				0		0	773
スライドフィルム				0		0	1,174
視聴覚資料小計	306	79	13	398	5,985	-5,587	53,867
総計	14,761	3,031	3,694	21,486	15,311	6,175	1,030,243

逐次刊行物

区分	配架場所	所蔵タイトル数	うち年間受入タイトル数			
			うち購入	うち寄贈他	うち外国語	
雑誌 (紀要を含む)	新聞雑誌室	8,549種	1,909種	403種	1,506種	37種
	みやぎ資料室	2,489種	495種	10種	485種	
	子ども図書室	181種	27種	14種	13種	
年鑑・年報	新聞雑誌室	3,048種	515種	205種	310種	
	子ども図書室	9種	0種	0種	0種	
行政資料	新聞雑誌室	2,141種	302種	148種	154種	
	みやぎ資料室	2,016種	207種	1種	206種	
新聞	新聞雑誌室	659種	85種	58種	27種	1種
	みやぎ資料室	270種	64種	0種	64種	
	子ども図書室	2種	1種	1種	0種	
計		19,364種	3,605種	840種	2,765種	38種
前年度		18,790種	3,473種	912種	2,566種	39種

\*子ども図書室には児童資料研究・相談室分を含む

## (2) 開館日数・入館者数・個人貸出冊数・調査相談件数

	開館日数	入館者数	1日平均 入館者数	個人貸出 冊数	1日平均 貸出冊数	調査相談 件数
平成19年 4月	25日	42,434人	1,697人	77,106冊	3,084冊	2,226件
5月	25日	44,577人	1,783人	75,516冊	3,021冊	2,342件
6月	25日	45,917人	1,837人	78,319冊	3,133冊	2,686件
7月	25日	49,200人	1,968人	83,243冊	3,330冊	2,925件
8月	26日	56,505人	2,173人	85,619冊	3,293冊	3,554件
9月	25日	44,993人	1,800人	83,383冊	3,335冊	2,993件
10月	25日	42,294人	1,692人	76,493冊	3,060冊	2,652件
11月	26日	43,059人	1,656人	75,807冊	2,916冊	2,953件
12月	24日	38,571人	1,607人	73,912冊	3,080冊	2,509件
平成20年 1月	17日	32,426人	1,907人	59,392冊	3,494冊	2,244件
2月	19日	35,024人	1,843人	69,354冊	3,650冊	2,523件
3月	26日	44,962人	1,729人	84,362冊	3,245冊	2,505件
合 計	288日	519,962人	1,805人	922,506冊	3,203冊	32,112件
前年度合計	285日	549,601人	1,928人	958,234冊	3,362冊	27,162件
増 減	+ 3日	- 29,639人	- 117人	- 35,728冊	- 159冊	+ 4,950件

## (3) 利用登録者数

	19年3月末現在	20年3月末現在
利用登録者数	225,531人	235,205人
対前年比	+ 10,417人	+ 9,674人
新規登録者数	10,423人	9,671人
実利用者数	44,838人	46,483人

\* 対前年比には、新規登録による増加のほか、県外転居等による減少を含む

\* 実利用者数は、年度内に登録、貸出等の図書館利用が1回以上あった利用者数を示す

## 居住市町村別内訳(平成19年度分で構成比の多い順)

## 利用登録者数

	19年3月末現在		20年3月末現在	
	登録者数	構成比	登録者数	構成比
仙台市	172,801人	76.6%	179,794人	76.4%
(内訳)青葉区	55,977人	24.8%	58,298人	24.8%
宮城野区	16,609人	7.4%	17,225人	7.3%
若林区	7,343人	3.3%	7,587人	3.2%
太白区	16,243人	7.2%	16,734人	7.1%
泉区	76,629人	34.0%	79,950人	34.0%
富谷町	14,646人	6.5%	15,487人	6.6%
大和町	5,194人	2.3%	5,438人	2.3%
大崎市	4,534人	2.0%	4,822人	2.1%
利府町	4,072人	1.8%	4,241人	1.8%
多賀城市	3,568人	1.6%	3,736人	1.6%
名取市	3,371人	1.5%	3,497人	1.5%
塩竈市	2,508人	1.1%	2,619人	1.1%
その他	14,837人	6.6%	15,571人	6.6%
合計	225,531人	100.0%	235,205人	100.0%

## 個人貸出冊数

	平成18年度		平成19年度	
	貸出冊数	構成比	貸出冊数	構成比
仙台市	759,313冊	79.2%	729,780冊	79.1%
(内訳)青葉区	220,988冊	23.1%	215,391冊	23.3%
宮城野区	35,621冊	3.7%	31,267冊	3.4%
若林区	10,365冊	1.1%	8,708冊	0.9%
太白区	27,992冊	2.9%	22,938冊	2.5%
泉区	464,347冊	48.5%	451,476冊	48.9%
富谷町	95,515冊	10.0%	95,960冊	10.4%
大和町	26,925冊	2.8%	26,114冊	2.8%
大崎市	13,390冊	1.4%	12,495冊	1.4%
利府町	13,829冊	1.4%	11,790冊	1.3%
多賀城市	6,588冊	0.7%	5,669冊	0.6%
塩竈市	5,891冊	0.6%	4,945冊	0.5%
名取市	5,353冊	0.6%	4,503冊	0.5%
その他	31,430冊	3.3%	31,250冊	3.4%
合計	958,234冊	100.0%	922,506冊	100.0%

(4) 分類別蔵書冊数及び個人貸出冊数

	一般図書											外国語資料	郷土資料	児童資料	視聴覚資料	その他	計
	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	未分類他						
蔵書冊数	27,196	35,722	73,788	120,684	45,303	43,799	27,098	58,088	12,216	165,547	41,435	24,131	113,357	157,391	56,867	27,621	1,030,243
構成比 *1	2.6%	3.5%	7.2%	11.7%	4.4%	4.2%	2.6%	5.6%	1.2%	16.0%	4.0%	2.3%	11.0%	15.3%	5.5%	2.7%	100.0%
構成比 *2	4.5%	5.9%	12.1%	19.8%	7.4%	7.2%	4.4%	9.5%	2.0%	27.5%							
前年度計	25,867	35,123	72,722	118,312	45,006	42,826	26,677	56,908	12,014	163,198	45,441	24,127	111,643	150,405	59,454	34,133	1,023,856
増減	1,329	599	1,066	2,372	297	973	421	1,180	202	2,349	-4,006	4	1,714	6,986	-2,587	-6,512	6,387
貸出冊数																	
19年4月	853	2,469	3,995	5,476	3,321	5,072	2,202	4,623	763	16,293	36	122		15,975	16,088		77,106
5月	955	2,638	3,866	5,959	3,457	4,867	2,183	4,639	773	16,193	44	129		14,482	15,331		75,516
6月	998	2,586	3,811	5,852	3,402	5,081	1,996	4,582	771	16,241	36	137		17,138	15,688		78,319
7月	900	2,700	4,026	6,063	3,789	5,210	2,084	4,736	853	17,051	29	153		20,075	15,574		83,243
8月	928	2,929	4,248	6,249	3,955	5,175	1,953	4,980	830	17,625	33	173		21,610	14,931		85,619
9月	976	2,829	4,341	6,195	3,463	5,024	2,000	4,780	927	18,292	40	149		19,039	15,328		83,383
10月	870	2,702	3,938	5,724	3,435	4,854	1,969	4,488	870	16,944	29	137		16,070	14,463		76,493
11月	933	2,533	3,733	5,688	3,333	4,977	1,866	4,533	711	16,175	34	175		16,949	14,167		75,807
12月	830	2,271	6,159	5,417	3,101	4,499	1,573	4,193	699	14,939	41	174		16,067	13,949		73,912
20年1月	751	1,966	3,110	4,682	2,716	3,789	1,501	3,681	679	12,903	25	141		12,783	10,665		59,392
2月	826	2,231	3,595	4,876	2,975	4,421	1,694	4,215	785	15,702	-	132		14,529	13,373		69,354
3月	1,056	2,640	4,176	5,665	3,408	5,185	2,112	5,041	960	17,714	-	193		20,216	15,996		84,362
年度計	10,876	30,494	48,998	67,846	40,355	58,154	22,951	54,491	9,621	196,072	347	1,815	-	204,933	175,553	-	922,506
構成比 *1	1.2%	3.3%	5.3%	7.4%	4.4%	6.3%	2.5%	5.9%	1.0%	21.3%	0.0%	0.2%		22.2%	19.0%		100.0%
構成比 *2	2.0%	5.6%	9.1%	12.6%	7.5%	10.8%	4.3%	10.1%	1.8%	36.3%							
前年度計	12,154	31,047	48,057	73,953	42,081	62,041	24,848	57,680	9,701	194,043	914	2,000	-	207,709	192,006	-	958,234
増減	-1,278	-553	941	-6,107	-1,726	-3,887	-1,897	-3,189	-80	2,029	-567	-185		-2,776	-16,453		-35,728

構成比 \*1 : 対総数での構成比を算出したもの

構成比 \*2 : 一般図書のうちNDC分類付与済みの資料内での構成比を算出したもの

館内貸出冊数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
19年度	4,570	5,087	5,015	5,395	6,416	5,501	4,890	4,520	4,360	3,584	1,803	2,352	53,493
前年度	5,281	5,577	5,573	6,305	7,232	5,907	5,277	5,584	5,034	4,442	3,983	5,074	65,269
増減	-711	-490	-558	-910	-816	-406	-387	-1,064	-674	-858	-2,180	-2,722	-11,776

(5) 古書閲覧及び特別利用

	閲覧利用	特別利用								計	
		特別貸出	撮影	出版	掲載	翻刻	ビデオ	放送	装飾		
19年4月	利用件数	3件	1件	4件		5件			1件		11件
	利用冊数	5冊	1冊	12冊		5冊			1冊		19冊
5月	利用件数	8件	1件	1件		4件			1件		7件
	利用冊数	43冊	1冊	501冊		26冊			501冊		1,029冊
6月	利用件数	13件	2件	3件		4件					9件
	利用冊数	1,041冊	21冊	35冊		4冊					60冊
7月	利用件数	2件	4件	5件		11件			3件		23件
	利用冊数	3冊	125冊	120冊		128冊			3冊		376冊
8月	利用件数	6件	3件			17件					20件
	利用冊数	132冊	3冊			8冊					11冊
9月	利用件数	14件	3件	4件		7件			1件		15件
	利用冊数	883冊	4冊	7冊		10冊			1冊		22冊
10月	利用件数	10件	2件	1件		3件					6件
	利用冊数	63冊	15冊	16冊		18冊					49冊
11月	利用件数	12件	3件	6件		3件			3件		15件
	利用冊数	65冊	4冊	31冊		3冊			8冊		46冊
12月	利用件数	10件	2件	2件		9件					13件
	利用冊数	42冊	3冊	2冊		13冊					18冊
20年1月	利用件数	4件	1件	1件		4件					6件
	利用冊数	80冊	2冊	52冊		13冊					67冊
2月	利用件数	11件	2件	3件		11件	1件	1件			18件
	利用冊数	124冊	3冊	49冊		29冊	1冊	1冊			83冊
3月	利用件数	11件				5件					5件
	利用冊数	54冊				10冊					10冊
計	利用件数	104件	24件	30件	0件	83件	1件	1件	9件	0件	148件
	利用冊数	2,535冊	182冊	825冊	0冊	267冊	1冊	1冊	514冊	0冊	1,790冊
前年度計	利用件数	86件	15件	34件	0件	42件	0件	0件	1件	0件	92件
	利用冊数	2,300冊	74冊	1,285冊	0冊	180冊	0冊	0冊	1冊	0冊	1,540冊

## (6) 調査相談の利用

	電話	文書	E-mail	口頭	その他	計
19年 4月	327件	16件	31件	1,851件	1件	2,226件
5月	364件	8件	29件	1,932件	0件	2,333件
6月	293件	12件	56件	2,303件	0件	2,664件
7月	310件	29件	16件	2,579件	0件	2,934件
8月	331件	29件	42件	3,152件	0件	3,554件
9月	305件	20件	49件	2,559件	0件	2,933件
10月	340件	17件	83件	2,212件	0件	2,652件
11月	273件	97件	68件	2,515件	0件	2,953件
12月	272件	10件	21件	2,205件	1件	2,509件
20年 1月	256件	9件	29件	1,950件	0件	2,244件
2月	263件	14件	23件	2,223件	0件	2,523件
3月	258件	9件	24件	2,208件	7件	2,506件
計	3,592件	270件	471件	27,689件	9件	32,031件
前年度計	4,474件	283件	418件	21,968件	19件	27,162件

## (7) 文献複写の利用

種類別枚数		枚数
電子複写	白黒	146,748 (158,234)
	カラー	418 (470)
マイクロフィルム		17,145 (17,764)
写真撮影		2,231 (20,362)
計		166,542 (196,830)
月平均		13,879 (16,403)

## 受付窓口別枚数

種別	枚数
一般図書 カウンター	24,092 (28,679)
調査相談 カウンター	26,819 (24,153)
新聞雑誌室	56,952 (59,091)
みやぎ資料室	56,448 (84,907)
計	164,311 (196,830)

( ) 前年度

## (8) 図書館間の相互協力

## 協力貸出冊数

図書館名	18年度	19年度
仙台市民	1,096冊	854冊
仙台市広瀬	286冊	225冊
仙台市宮城野	372冊	349冊
仙台市榴岡	235冊	204冊
仙台市泉	546冊	338冊
仙台市若林	335冊	607冊
仙台市太白	598冊	514冊
石巻市	738冊	832冊
塩竈市	748冊	778冊
大崎市	1,292冊	1,063冊
気仙沼市	604冊	452冊
白石市	434冊	363冊
名取市	752冊	876冊
角田市	449冊	334冊
多賀城市	647冊	946冊
岩沼市	552冊	555冊
登米市迫	776冊	681冊
登米市登米	218冊	236冊

図書館名	18年度	19年度
栗原市	1,280冊	1,012冊
東松島市	800冊	610冊
蔵王町	622冊	1,056冊
丸森町	2冊	43冊
亶理町	419冊	641冊
利府町	759冊	1,053冊
加美町中新田	92冊	149冊
加美町小野田	37冊	127冊
美里町小牛田	1,160冊	1,109冊
美里町南郷	137冊	314冊
南三陸町	490冊	447冊
本吉町	549冊	371冊
小計	17,025冊	17,139冊
公民館図書室等	6,095冊	5,375冊
県外図書館等	1,331冊	1,358冊
合計	24,451冊	23,872冊

## 協力貸出冊数(県外図書館等内訳)

都道府県	18年度	19年度
北海道	215冊	232冊
青森	143冊	78冊
岩手	299冊	204冊
秋田	84冊	95冊
山形	108冊	119冊
福島	198冊	131冊
茨城	8冊	19冊
栃木	1冊	4冊
群馬	0冊	10冊
埼玉	17冊	18冊
千葉	38冊	43冊
東京	19冊	20冊
神奈川	8冊	3冊
新潟	8冊	5冊
山梨	3冊	2冊
長野	11冊	1冊
静岡	9冊	38冊
富山	3冊	3冊
石川	2冊	0冊
福井	1冊	3冊
岐阜	5冊	3冊
愛知	23冊	17冊
三重	9冊	186冊

都道府県	18年度	19年度
滋賀	2冊	16冊
京都	21冊	11冊
大阪	15冊	9冊
兵庫	6冊	8冊
奈良	2冊	3冊
和歌山	1冊	0冊
鳥取	0冊	2冊
島根	0冊	0冊
岡山	8冊	9冊
広島	8冊	3冊
山口	13冊	11冊
徳島	2冊	3冊
香川	1冊	5冊
愛媛	4冊	4冊
高知	0冊	1冊
福岡	11冊	9冊
佐賀	10冊	4冊
長崎	2冊	12冊
熊本	1冊	3冊
大分	2冊	0冊
宮崎	4冊	8冊
鹿児島	0冊	0冊
沖縄	6冊	3冊
計	1,331冊	1,358冊

月別相互貸借冊数・文献複写件数・協力レファレンス件数

	貸出冊数			借受冊数				文献複写受付件数			文献複写依頼件数				協力レファレンス受付数		
	県内へ	県外へ	計	県内から	県外から	国会から	計	県内から	県外から	計	県内へ	県外へ	国会へ	計	県内から	県外から	計
19年 4月	1,590冊	163冊	1,753冊	59冊	25冊	5冊	89冊	40件	14件	54件	0件	2件	12件	14件	15件	3件	18件
5月	1,684冊	102冊	1,786冊	63冊	45冊	0冊	108冊	1件	5件	6件	0件	3件	19件	22件	10件	8件	18件
6月	1,931冊	115冊	2,046冊	73冊	6冊	0冊	79冊	4件	14件	18件	0件	0件	77件	77件	11件	5件	16件
7月	1,925冊	107冊	2,032冊	79冊	14冊	3冊	96冊	2件	19件	21件	0件	4件	46件	50件	11件	4件	15件
8月	1,900冊	114冊	2,014冊	72冊	18冊	6冊	96冊	5件	9件	14件	0件	2件	59件	61件	9件	2件	11件
9月	1,909冊	93冊	2,002冊	52冊	12冊	0冊	64冊	7件	4件	11件	1件	3件	27件	31件	12件	2件	14件
10月	2,200冊	138冊	2,338冊	43冊	14冊	0冊	57冊	41件	30件	71件	0件	4件	20件	24件	9件	4件	13件
11月	2,181冊	92冊	2,273冊	67冊	13冊	0冊	80冊	9件	0件	9件	3件	32件	30件	65件	7件	2件	9件
12月	1,916冊	93冊	2,009冊	42冊	16冊	0冊	58冊	1件	2件	3件	0件	4件	78件	82件	7件	2件	9件
20年 1月	1,587冊	74冊	1,661冊	40冊	11冊	0冊	51冊	7件	1件	8件	1件	2件	24件	27件	6件	2件	8件
2月	1,850冊	155冊	2,005冊	64冊	23冊	0冊	87冊	0件	17件	17件	1件	8件	13件	22件	13件	2件	15件
3月	1,841冊	112冊	1,953冊	58冊	28冊	11冊	97冊	9件	6件	15件	0件	2件	14件	16件	7件	2件	9件
計	22,514冊	1,358冊	23,872冊	712冊	225冊	25冊	962冊	126件	121件	247件	6件	66件	419件	491件	117件	38件	155件
前年度計	23,120冊	1,331冊	24,451冊	618冊	510冊	31冊	1,159冊	91件	448件	539件	14件	34件	526件	574件	129件	46件	175件

貸出依頼件数

	平成18年度	平成19年度
貸出依頼件数	25,267件	24,128件
所蔵件数	24,154件	23,368件
購入	297件	504件
借受・他館紹介等	32件	55件
提供不可	459件	201件
調査相談	175件	155件



(9) 障がい者サービス  
郵送貸出の利用

	新規登録	郵送貸出資料別							
		図書	朗読テープ		点字雑誌	ビデオ	CD	合計	
19年 4月	0人	利用件数	24件	24件		4件	11件	4件	67件
		利用冊数	91冊	27タイトル	115点	12冊	53点	11点	282点
5月	1人	利用件数	27件	23件		4件	10件	6件	70件
		利用冊数	103冊	27タイトル	119点	8冊	43点	22点	295点
6月	1人	利用件数	24件	24件		5件	5件	9件	67件
		利用冊数	84冊	33タイトル	116点	12冊	26点	23点	261点
7月	5人	利用件数	26件	23件		2件	4件	5件	60件
		利用冊数	119冊	3タイトル	87点	4冊	14点	13点	237点
8月	2人	利用件数	30件	23件		5件	9件	4件	71件
		利用冊数	112冊	19タイトル	93点	11冊	29点	12点	257点
9月	7人	利用件数	26件	22件		4件	6件	6件	64件
		利用冊数	91冊	25タイトル	97点	9冊	23点	22点	242点
10月	4人	利用件数	33件	21件		4件	5件	9件	72件
		利用冊数	105冊	15タイトル	84点	11冊	17点	34点	251点
11月	4人	利用件数	30件	21件		4件	6件	15件	76件
		利用冊数	115冊	25タイトル	81点	10冊	21点	40点	267点
12月	3人	利用件数	28件	20件		4件	7件	9件	68件
		利用冊数	102冊	23タイトル	71点	10冊	24点	23点	230点
20年 1月	2人	利用件数	25件	19件		3件	3件	5件	55件
		利用冊数	75冊	20タイトル	66点	8冊	11点	17点	177点
2月	2人	利用件数	29件	24件		7件	12件	8件	80件
		利用冊数	98冊	25タイトル	71点	18冊	31点	20点	238点
3月	2人	利用件数	36件	24件		3件	12件	4件	79件
		利用冊数	96冊	33タイトル	105点	9冊	47点	9点	266点
計	33人	利用件数	338件	268件		49件	90件	84件	829件
		利用冊数	1,191冊	275タイトル	1,105点	122冊	339点	246点	3,003点
前年度計	27人	利用件数	309件	347件		46件	119件	120件	941件
		利用冊数	1,232冊	478タイトル	1,901点	118冊	451点	402点	4,104点

音訳サービスの利用及び調査相談件数

		音訳サービス						調査相談件数	
		朗読テープの作成		対面朗読		電話朗読			計
		職員	ボランティア	職員	ボランティア	職員	ボランティア		
19年 4月	実施件数		2件			4件	7件	13件	63件
	のべ時間		1.5時間			0.5時間	5.5時間	7.5時間	
5月	実施件数		3件			4件	11件	18件	31件
	のべ時間		4.0時間			0.5時間	9.5時間	14.0時間	
6月	実施件数		3件			4件	7件	14件	78件
	のべ時間		4.0時間			0.5時間	6.0時間	10.5時間	
7月	実施件数	1件	5件		1件	4件	11件	22件	44件
	のべ時間	1.0時間	10.0時間		2.0時間	1.0時間	10.5時間	24.5時間	
8月	実施件数	1件	10件			3件	9件	23件	54件
	のべ時間	1.0時間	24.5時間			0.5時間	7.5時間	33.5時間	
9月	実施件数		5件			4件	9件	18件	64件
	のべ時間		9.0時間			1.5時間	8.0時間	18.5時間	
10月	実施件数	1件	5件			4件	12件	22件	98件
	のべ時間	1.0時間	12.0時間			1.0時間	10.0時間	24.0時間	
11月	実施件数	4件	5件			8件	9件	26件	103件
	のべ時間	4.0時間	24.2時間			1.9時間	7.6時間	37.7時間	
12月	実施件数	5件	7件			3件	11件	26件	47件
	のべ時間	5.0時間	52.3時間			0.5時間	9.1時間	66.9時間	
20年 1月	実施件数	5件	8件		2件	2件	8件	25件	89件
	のべ時間	5.0時間	14.3時間		4.0時間	0.3時間	7.4時間	31.0時間	
2月	実施件数	6件	7件			2件	10件	25件	48件
	のべ時間	7.0時間	30.3時間			0.7時間	9.5時間	47.5時間	
3月	実施件数	7件	8件			5件	11件	31件	64件
	のべ時間	7.0時間	48.3時間			1.3時間	10.4時間	67.0時間	
計	実施件数	30件	68件	0件	3件	47件	115件	263件	783件
	のべ時間	31.0時間	234.4時間	0.0時間	6.0時間	10.2時間	101.0時間	382.6時間	
前年度計	実施件数	19件	23件	0件	4件	54件	116件	216件	739件
	のべ時間	12.5時間	44.0時間	0.0時間	8.0時間	33.9時間	98.1時間	196.5時間	

## (10) 生涯学習相談

	相談 受付 日数	相談 受付 件数	1 日 平均 件数	受付方法別		相談内容別							
				面 接 相 談	電 話 相 談	イ 学 べ 習 機 構 会	場 施 所 設	グ 団 ル ー プ 体	指 講 導 者 師	資 格	情 報 源	そ の 他	
19年 4月	25	145	5.8	111	34	25	2	-	9	11	32	66	
5月	25	93	3.7	68	25	21	2	1	13	3	28	25	
6月	25	106	4.2	79	27	20	6	1	21	1	34	23	
7月	25	93	3.7	72	21	23	2	1	13	2	28	24	
8月	26	81	3.1	67	14	20	10	2	4	2	26	17	
9月	25	89	3.6	71	18	20	4	3	3	3	32	24	
10月	25	85	3.4	61	24	28	-	3	4	1	30	19	
11月	26	71	2.7	56	15	20	2	2	3	4	23	17	
12月	23	55	2.4	35	20	7	3	6	2	1	20	16	
20年 1月	17	48	2.8	41	7	7	4	-	7	2	21	7	
2月	17	50	2.9	40	10	12	2	1	5	2	33	32	
3月	25	57	2.3	45	12	15	3	2	3	4	21	9	
合 計	284	973	3.4	746	227	218	40	22	87	36	328	279	
構成比		100.0%		76.7%	23.3%	22.4%	4.1%	2.3%	8.9%	3.7%	33.7%	28.7%	
前年度計	289	1,506	5.2	1,301	205	442	146	67	85	31	334	401	

区分	相談者の 男女別		相談者の年齢層別						計
	男	女	19歳 以下	20歳 ~ 29歳	30歳 ~ 39歳	40歳 ~ 49歳	50歳 ~ 59歳	60歳 以上	
人 数	636	337	14	82	143	140	161	433	973
構成比	65.4%	34.6%	1.4%	8.4%	14.7%	14.4%	16.5%	44.5%	100.0%
前年度計	988	518	38	132	155	138	266	777	1,506

## (11) 施設見学状況

	施設調査		一般見学		児童生徒見学		うち閉架書庫見学		調べ学習		職場体験		合 計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
平成19年 4月	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0	0
5月	1	23	0	0	1	66			1	61	2	8	5	158
6月	0	0	1	19	1	12	1	12	0	0	0	0	2	31
7月	2	70	0	0	7	125	3	68	5	109	0	0	14	304
8月	1	23	0	0	2	40	2	40	1	30	3	9	7	102
9月	0	0	1	30	4	244	1	30	1	32	0	0	6	306
10月	0	0	2	32	1	30	1	30	2	48	4	19	9	129
11月	0	0	2	43	2	113			0	0	3	7	7	163
12月	1	13	2	41	2	58			0	0	0	0	5	112
平成20年 1月	0	0	1	10	0	0			0	0	1	1	2	11
2月	0	0	2	59	2	21			0	0	0	0	4	80
3月	0	0	3	36	0	0			0	0	0	0	3	36
合 計	5	129	14	270	22	709	8	180	10	280	13	44	64	1,432
前年度合計	0	0	19	492	29	998	9	181	13	465	8	24	69	1,979

8 主催事業の概要

(1) 特別展

回	開催期間	タイトル
1	平成19年 3月 3日(土) ～5月31日(木)	「きらめく叡智と美のしづく展VI」 —文化財指定からその活用まで—
2	平成19年 6月 2日(土) ～8月 2日(木)	「叡智の杜への誘い」 —複製資料活用のすすめ—
3	平成19年 8月 4日(土) ～10月 4日(木)	プロジェクト22「アヒルと左吾平」 —スクリーンの中の宮城—
4	平成19年10月 6日(土) ～12月 6日(木)	秋田県立図書館交流展 「秋田県立図書館 所蔵貴重書の世界」 —旧秋田藩主佐竹家所蔵資料複製—
5	平成19年12月 8日(土) ～平成20年3月 2日(日)	「視聴覚資料のあゆみ」 —県図書館と視聴覚資料—
6	平成20年 3月 4日(火) ～5月31日(土)	「きらめく叡智と美のしづく展VII」 (平成19年度県指定文化財等を公開)

(2) 企画展

回	開催期間	タイトル
1	平成19年4月10日(火) ～5月31日(木)	「図書館式タイムトリップ バックトゥ1987」
2	平成19年6月2日(土) ～8月2日(木)	「叡智の杜への誘い」 —複製資料活用のすすめ—
3	平成19年8月4日(土) ～10月4日(木)	「プロジェクト22」「アヒルと左吾平」 —スクリーンの中の宮城—
4	平成19年10月6日(土) ～12月5日(水)	「韓くにの風にふかれて」
5	平成19年12月8日(土) ～平成20年1月10日(木)	『源氏物語絵巻』の世界
6	平成20年1月12日(土) ～3月2日(日)	「みやぎの児童文学」
7	平成20年3月4日(火) ～5月31日(土)	「書物鑑賞の基礎知識」

(3) 「プロジェクト22」(職員4チーム(A～D)による自主企画事業)

回	日時	内 容	対象 参加人数
1	8月4日(土) ～10月4日(木)	Aチーム「アヒルと左吾平」～スクリーンの中の宮城～ 宮城県をロケ地として制作された映画やドラマなどの映像資料から、作成当時の郷土の姿を浮き彫りにする。	一般
2	11月10日(土)	Bチーム「Exlibris 消しゴムはんこで蔵書票を作ってみよう」～大切な1冊にさらなる愛情を～ 本を取り巻く様々な歴史を蔵書票づくりを通して解説し、本の貴重さ大切さを再認識してもらおう。	一般
3	11月24日(土)	Cチーム 企画展「おらほの方言紙芝居『きてみてけらいん』」 現在、耳にする機会の減ってしまった地元「みやぎ」に伝わる方言を紙芝居の読み聞かせ上演を通して身近に感じてもらう。昔懐かしい街頭紙芝居(複製)を同時展示で実施。	一般 41人
4	12月 1日(土)	Dチーム「鯨にまつわるエトセトラ」 県政ニュースから映像で捕鯨の様子を紹介し、メンバー6名からは鯨に関するテーマ(捕鯨の歴史、工芸品、 「鯨」という漢字、座礁、食文化、野球)を発表し、様々なアプローチを試みる。	一般 16人

(4) 図書館ツアー 5回実施、参加者延べ54人

回	日時	内 容	参加人数
1	8月 4日(土)	親子ツアー① 街頭紙芝居の紹介	親子 9組(計22人)
2	8月 4日(土)	親子ツアー② 珍しい本の紹介	親子 8組(計19人)
3	10月24日(水)	所蔵複製資料の紹介	一般 5人
4	12月 8日(土)	大型本や雑誌の紹介	一般 5人
5	2月15日(金)	マイクロフィルム等新聞雑誌関係資料の紹介	一般 3人

(5) データベース講習会 5回、参加者延べ54人

回	日時	対象 参加人数	回	日時	対象 参加人数
1	6月30日(土)	一般 2人	4	12月15日(土)	一般 2人
2	9月1日(土)	一般 4人	5	3月 1日(土)	一般 3人
3	10月27日(土)	一般 0人			

(6) 子どもの本の展示会

開催期間	会場	入場者数
4月25日(水)～5月6日(日)	ホール養賢堂	延べ 796人

(7) 音楽鑑賞講座

期日：平成19年7月21日(土)  
講師：田村 輝頭 氏・鈴木 健治 氏 (参加者：90人)

(8) 上映会・コンサート

期日：毎月第2、第4土曜日、日曜日 (参加者：479人)

(9) 生涯学習推進月間

- ① 生涯学習サークル等作品展示会  
(場所：生涯学習室 特設展示ブース)  
オーストラリアワイルドフラワー作品展示・制作体験 (参加者：延べ124人)  
(特定非営利活動法人フラワーセラピー研究会仙台地区)  
期日：平成19年10月2日(火)～10月21日(日)
- ② 「古典教室—変体仮名の世界と王朝文学への誘い—」(参加者：12人)  
期日：平成19年10月11日(木)・18日(木)・25日(木)  
講師：宮城県図書館資料奉仕部長 大林 茂

(10) エル・ネット「オープンカレッジ」

期日：平成19年4月～平成19年12月  
内容：文部科学省の衛星通信による大学公開講座の放映 (参加者：延べ33人)

(11) 子ども放送局

期日：毎週土曜日(第5土曜日は除く)  
内容：文部科学省の衛星通信による子ども向け番組の放映 (参加者：延べ14人)

(12) 読書推進講演会

期日：平成19年11月3日(土)  
講演：「わたしの『小さな本棚』～心に記した読書ノート」  
講師：佐伯 一麦 氏(参加者：100人)

(13) みやぎ県民大学

テーマ「叡智の杜を訪ねて」8回実施  
受講者80人、延べ310人

回	期日	講師	内容
1	9月1日(土)	資料奉仕部長 大林 茂	西行のみちのく旅を探る
2	9月8日(土)	主事 太田 美喜	戦争と平和
3	9月15日(土)	主事 田代 恭子	叡智の杜への招待 往来物
4	9月22日(土)	主事 日野 文都	叡智の杜への招待 博物学
5	9月29日(土)	主事 熊谷慎一郎	芦東山について
6	10月6日(土)	主幹 大和田順子	書物形態論
7	10月13日(土)	主事 岡本 真澄	書物形態論 - 所蔵資料のあれこれ -
8	10月20日(土)	主任主査 佐藤 睦美	叡智の杜をめぐる

(14) 館長記念講演

- ①「和歌のくにみちのくに」(参加者:47人)  
期日:平成19年11月17日(土)
- ②「宮城のかたち」(参加者:87人)  
期日:平成20年2月28日(木)

(15) 図書館ボランティア研修

- イ 養成講座(本館ボランティア 平成19年度新規登録者(47人)を対象に実施)  
(イ) 一般講座  
期日:平成19年4月20日(金)  
内容:宮城県図書館の概要、ボランティアについて、各活動担当者の紹介(参加者:41人)
- (ロ) 専門講座(活動分野ごとに、ボランティア登録を行い、専門講座を実施している。ただし、複数の専門講座を受講できることとしている。)

・書架整理一般(全1回)〈平成19年度新規登録者 20人〉

回	期日	内容	参加者
1	4月20日(金)	ラベル(請求記号)・配架について	19人

・書架整理児童(全2回)〈平成19年度新規登録者 10人〉

回	期日	内容	参加者
1	4月20日(金)	ラベル(請求記号)・配架について	8人
2	6月28日(木)	ラベル(請求記号)・配架について	2人

・視聴覚(全2回)〈平成19年度新規登録者 10人〉

回	期日	内容	参加者
1	4月27日(金)	活動内容について・配架について	5人
2	5月18日(金)	活動内容について・配架について	6人

・読み聞かせ(全2回)〈平成19年度新規登録者 4人〉

回	期日	内容	参加者
1	4月20日(金)	読み聞かせの実演及び子どもの本、おはなし会について	5人
2	6月28日(木)	読み聞かせの実演及び子どもの本、おはなし会について	8人

・音訳(全4回)〈平成19年度新規登録者 8人〉

回	期日	講座 内容	参加者
1	5月24日(木)	障害者サービスについて、音訳サービスの実際	4人
補1	6月2日(土)	音訳の基礎1(音訳とは・日本語の基礎・呼吸法)	5人
2	6月7日(木)	障害者サービスについて	7人
3	6月14日(木)	音訳サービスの実際1	7人
4	6月21日(木)	音訳サービスの実際2	7人
補2	6月23日(土)	障害者サービスについて	4人

(全5回)

回	期日	講座 内容	参加者
1	9月13日(木)	読みの基本、デジタル録音機使い方講習会	12人
2	9月20日(木)	文芸作品の読み方、デジタル録音機使い方講習会	15人
3	9月22日(土)	デジタル録音機講習会、全体会・オリエンテーション	9人
4	9月27日(木)	報道記事の読み方、デジタル録音機使い方講習会	10人
5	10月11日(木)	県立盲学校施設見学、県視覚障害者情報センター見学	9人

・図書館案内(全7回)

(平成19年度新規登録者 9人を含む28人を対象に実施)

回	期日	内容	参加者
1	4月12日(木)	企画展「図書館式タイムトリップ バックトゥ1987」展示説明	12人
2	6月7日(木)	特別展「叡智の杜への誘い」展示説明	15人
3	8月9日(木)	特別展「アヒルと左吾平」～スクリーンの中の宮城～展示説明	12人
4	10月11日(木)	特別展「秋田県立図書館所蔵貴重書の世界」、企画展「韓くにの風にふかれて」展示説明	16人
5	12月13日(木)	特別展「視聴覚資料のあゆみ」、企画展「源氏物語絵巻」の世界」展示説明	14人
6	1月14日(月)	「みやぎの児童文学」展示説明	16人
7	3月4日(火)	特別展「きらめく叡智と美のしずく展」、企画展「書物鑑賞の基礎知識」展示説明	17人

ロ 全体研修会(本館ボランティア登録者139人(新規60人、継続79人)を対象)

期日:平成19年6月28日(木)

講演:「文化ボランティアとは」

講師:企画協力班 野澤 郁晃(参加者:40人)

ハ 宮城県図書館ボランティア10周年記念事業「ありがとう!10周年 ボランティア感謝の集い」

期日:平成20年2月28日(木)

講演:「宮城のかたち」館長 伊達 宗弘(87名参加)

感謝状授与式

(16) 公共図書館等初任者研修会

期日:平成19年4月19日(木)

講義1:「図書館サービスを考える視点 -いつの日にも共感される図書館であるために-」

講師:宮城県図書館 内馬場 みち子

演習:「分類のしくみ～資料を有効に活用するための第一歩～」

講師:宮城県図書館 日野 文都 田代 恭子

(参加者:43人)

(17) 公共図書館長研修会

期日：平成19年5月11日(金)
講演：「図書館に期待される役割とサービス計画の立案」
グループ討議：「図書館サービス計画と評価手法の実践」
講師：濱田 幸夫 氏 (筑波大学大学院図書館情報メディア研究科・専任講師) (参加者：37人)

(18) 公共図書館等職員研修会 1

期日：平成19年9月14日(金)・21日(金)
講演：「レファレンスサービスの実践のために」
講師：斎藤 文男 氏 (富士大学経済学部教授) (参加者：46人)

(19) 公民館図書室担当職員研修

期日：平成19年9月21日(金)
講演：「図書館資料の利用について」
講師：宮城県図書館 高橋 智恵
演習：「利用される図書館を作る～分類と修理の話～」
講師：宮城県図書館 田代 恭子(参加者：18人)

(20) 公共図書館等職員研修会 2

期日：平成19年11月15日(木)
講演：「読むことの意味」
講師：宮川 健郎 氏 (明星大学人文学部 教授) (参加者：31人)

(21) 読書活動研究集会

期日：平成19年12月14日(金)
講演：「アニメーションのミラクルパワー」
講師：有元 秀文 氏 (国立教育政策研究所 教育課程研究センター) (参加者：98人)

(22) 宮城県図書館振興講演会

期日：平成19年5月26日(土)
会場：松島町中央公民館
演題：「図書館のある暮らし～読書の楽しみ～」
講師：大島 真理 氏 (東北福祉大学講師) (参加者：62人)

第7節 宮城県泉が岳自然の家

1 目標

- (1) 泉ヶ岳の自然や地域の文化に親しみ豊かな心を養う。
(2) 友情の輪を広げ、豊かな創造性とたくましい実践力を身につける。
(3) 協同生活における勤労体験をとおして奉仕の心を高める。
(4) 仲間との切磋琢磨により礼儀を重んじ身心を鍛える。

2 目標達成のための指針

施設の立地条件を生かした生涯学習に係わる研修事業の開発と実施に努める。

- (1) 生涯学習社会の時代の要請に即した主催事業の計画と運営
① 四季をとおして、自然に親しみ自然を大切にする心の涵養を旨とした事業
② 青少年の自立的な活動を育てる事業
③ 施設ボランティアの活用と指導者を育成する事業
④ 親子・世代間等の多彩な交流を図る事業
⑤ 余暇生活の充実発展を通し、自己啓発を支援する事業
(2) 県民に開かれた自然の家の確立
① 利用の拡大を図るための広報活動の強化
② 利用者のニーズに根ざした活動の活性化を図る情報の提供
③ 学校教育との融合の促進
④ 地域社会、関係諸機関及び各団体との連携強化
⑤ 県民の多種多様な価値観に応えられる生涯学習情報とサービスの提供

(3) 研修活動並びに指導体制の充実

- ① 施設及び立地条件の特徴を生かし、県民の多様な活動を可能にする研修プログラムの開発と指導・支援
② MAP (冒険プログラム) を取り入れた活動プログラムの推進と実践
③ 研修目的や内容に応じた弾力的運営
(4) 施設設備の整備・拡充と活用
① 多様な活動を保障する施設の整備とプログラムの開発
② 日常的な施設・設備の安全点検の実施と事故防止の徹底

3 組織と予算

(1) 組織

所長 — 研修支援班長
事務職員(2)
技師(2)
嘱託栄養士(1)
社会教育主事(3) 計10人

(2) 予算

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 金額 (千円) (Amount in 1000 Yen). Rows include 管理経費 (29,568), 事業費 (515), 施設整備費 (0), and 合計 (30,083).

(3) 収容人数

本館 160人
キャンプ場 40人

4 事業概要

(1) 主催事業 第5-36表

【小・中学生を対象とした事業】

Table with 7 columns: No., 事業名 (Project Name), 内容 (Content), 対象 (Target), 参加者 (Participants: 実人数, 延人数), 期日 (Date), 会場 (Venue). Row 1: 泉ヶ岳チャレンジクラブ自然学校, アドベンチャー体験・野外炊飯, 小学4年生～中学3年生 40人, 43人, 129人, 8月3日(金)～5日(日), 泉が岳自然の家

【親子を対象とした事業】

Table with 7 columns: No., 事業名 (Project Name), 内容 (Content), 対象 (Target), 参加者 (Participants: I 実人数, II 実人数, I 延人数, II 延人数), 期日 (Date), 会場 (Venue). Row 1: 家族の日(春) 泉ヶ岳親子でトライ I・II, テント生活体験・野外炊飯, 小学生を含む家族, I 53人 II 43人, I 106人 II 86人, I 6月2日(土)～3日(日) II 6月23日(土)～24日(日), 泉が岳自然の家 キャンプ場 泉ヶ岳山麓

2	家族の日(夏) 泉ヶ岳親子でトライ	・テント生活体験・野外炊飯 ・野外活動・昆虫採集 ・親子で作る(創作活動)	小学生を含む 家族	57人	114人	8月18日(土) ～19日(日)	泉が岳自然の家 キャンプ場 泉ヶ岳山麓
3	家族の日(秋) 泉ヶ岳親子でトライ	・テント生活体験・野外炊飯 ・キャンプファイヤー・泉ヶ岳ハイキング(軽登山) ・親子レクリエーション	小学生を含む 家族	53人	106人	9月15日(土) ～16日(日)	泉が岳自然の家 キャンプ場 泉ヶ岳山麓

(2) 利用状況 第5-37表

項目 月	開 所 日 数 (日)	利 用 日 数 (日)	宿 泊 可 能 日 数 (日)	宿 泊 利 用 日 数 (日)	利 用 団 体 数 (団体)	利 用 者 実 数					利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 者 延 人 数 (人)	日帰り研修	
						利 用 者 延 人 数								団 体 数 (団体)	延 人 数 (人)
						中 学 生 以 下 (人)	高 校 生 等 (人)	引 率 者 (人)	一 般 (人)	合 計 (人)					
4月	24	24	20	17	39	126	731	84	297	1,238	2,889	2,666	1,661	23	233
						226	1,693	168	812	2,899					
5月	27	23	23	16	31	991	10	92	345	1,438	3,127	2,942	1,689	11	185
						2,370	23	215	519	3,127					
6月	28	21	24	13	28	57	111	63	433	664	1,018	651	375	15	367
						113	153	69	683	1,018					
7月	28	25	25	21	43	370	24	69	498	961	1,942	1,749	1,047	20	193
						654	38	113	1,137	1,942					
8月	28	28	23	23	40	618	143	205	470	1,436	3,178	3,044	1,927	7	134
						1,283	390	428	1,077	3,178					
9月	26	25	21	19	33	323	28	66	604	1,021	2,138	1,993	1,128	14	145
						695	100	125	1,218	2,138					
10月	26	18	22	8	20	219	10	51	308	588	1,202	1,074	614	9	128
						426	20	96	660	1,202					
11月	26	16	22	8	17	27	127	26	461	641	1,070	816	429	6	254
						45	254	52	719	1,070					
12月	24	12	19	6	11	130	9	27	125	291	473	362	182	4	111
						261	18	51	143	473					
1月	24	18	20	6	35	177	10	45	200	432	734	598	302	20	136
						324	11	67	332	734					
2月	25	20	21	10	40	274	224	142	325	938	1,491	1,106	553	17	385
						416	402	223	450	1,491					
3月	12	10	8	4	16	19	10	7	180	216	295	158	79	8	137
						32	10	7	246	295					
累計	298	240	248	151	353	3,304	1,437	877	4,246	9,864	19,567	17,159	9,986	154	2,408
						6,845	3,112	1,614	7,996	19,567					

## 第8節 宮城県松島自然の家

### 1 目標

奥松島に位置する広大な敷地と恵まれた自然環境のもと、野外活動、体験活動、スポーツ、研修等とおして県民の心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成を図る。

### 2 目標達成のための指針

#### (1) 特色ある事業の計画と運営

- ① 県民の一人ひとりが、野外活動・体験活動等とおして、精神的な充足感や新たな自己発見ができる豊かで生きがいのある生活が促進できるような企画運営を行う。
- ② 青少年が自然とのふれあいをとおして「自ら学ぶ力」や「たくましく生きる力」そして「他を思いやる心」を身につけられるような企画運営を行う。
- ③ 完全学校週5日制の実施に伴い、家族のふれあいの場となるような企画運営を行う。

④ 障害のある児童生徒やその関係者の野外活動体験を推進する。

⑤ 地域(東松島市、宮戸漁協等)との関わりのある活動プログラムを推進するとともに、一層のプログラム開発に努める。

#### (2) 野外活動・体験活動・スポーツ・研修等の自主的・計画的な実践への効果的な支援

- ① 県民の学習ニーズに対応した快適な野外活動の場の提供と宿泊研修を主体的に進めるための支援を行う。
- ② 「利用団体事前打合せ」をおし、十分な情報提供と利用者間の調整に努める。
- ③ ゆとりある「活動プログラム」が企画できるように助言するとともに、打合せ後も電話連絡等できめ細かく支援をしていく。

- (3) 利用者が満足するサービスの実施
- ① 利用者の自主性を尊重し、誰もが利用しやすい施設運営に努める。
  - ② 文書や訪問による広報に加え、リーフレットやホームページの更新などにより、施設への理解と利用促進を図る。
  - ③ 専門性を高めるための職員研修を積極的に進める。
  - ④ 常に施設・設備の安全点検を行い、防災・安全対策に万全を期す。
- (4) 重点努力目標
- ① 幼児教育（保育所・幼稚園児）のための野外活動を推進する。
  - ② 主催事業の「ファミリーキャンプ体験版」等において、野外活動と家族間交流活動への興味・関心を高められるような企画運営を行う。
  - ③ 障害のある児童生徒やその関係者の野外活動体験を推進する。
  - ④ 各種団体・子ども会等に野外活動体験を推進する。
  - ⑤ 所員の研修活動を推進する。
    - ・心身にハンディを有する方に対する活動プログラム及び施設整備の充実についての研修
    - ・利用者へのアンケート実施
    - ・野外活動の効果分析及び評価方法の検討
    - ・野外活動プログラムの研究開発
    - ・年間を通じた恒常的プログラム
    - ・心身の発達段階に応じたプログラム
  - ⑥ 児童生徒に豊かな体験の場を提供するために学校との連携・融合を図り、豊かな心の育成と生きる力を育む体験活動に対する支援・協力するセカンドスクールの活用事業を推進する。
  - ⑦ その他
    - ・特に冬期間のPRに努める。
    - ・より効果的な利用者へのサービスのあり方を推進する。
- (5) 利用団体について
- ① 「指導者または責任者がはっきりして、活動計画のもと利用する団体及びグループ」の方針のっとり、特に、学校週五日制実施に伴い地域活動及び家族で気軽に利用できるように努める。
  - ② 学校の夏季休業中以外の、日帰り利用の促進を図る。ただし、宿泊利用者の妨げにならないようにする。
  - ③ 持ち込みテント利用は通年とし、利用者のニーズに柔軟に対応できるようにする。
- (6) 利用団体への対応について
- ① 利用団体との事前打合せを十分行い、団体の目的に応えられるよう支援していく。
  - ② 標準生活時程表を基本とするが、可能な範囲内で柔軟に対応する。
  - ③ 利用団体の自主性を尊重した活動になるよう支援していく。
- (7) 活動プログラムについて
- ① 自然体験や自然に親しむ活動のふれあいを通して、連帯感を育てるよう支援していく。
  - ② 自然環境を活かした活動プログラムの開発に努める。
  - ③ 地域（東松島市、宮戸漁協等）との関わりのある活動プログラムを推進するとともに、一層の開発に努める。

### 3 組織と予算

#### (1) 職員の構成

所長	1	研修支援班長	1	事務職員（2）	2	技師（栄養士）	1	社会教育主事（3）	3	計 8 人
----	---	--------	---	---------	---	---------	---	-----------	---	-------

#### (2) 予算（単位：千円）

項 目	金 額
管 理 費	29,220
事 業 費	1,965
施 設 設 備 費	21,582
合 計	52,767

#### (3) 収容人数

キャンプ場（テント）	750人
宿泊室	96人

## 4 事業概要

### (1) 主催事業 第5-38表

No	事業名	期 日	対象及び参加人数	ねらいと内容
1	アウトドアセミナーⅠ	5月19日（土） ～20日（日）	県民一般（家族） （65人）	野外活動及びニュースポーツの体験活動を通して参加者相互の交流を図り、県民の健康・体力づくりへの関心と意欲を高めた。
2	アウトドアセミナーⅡ	6月2日（土） ～3日（日）	県民一般（20歳以上の成人） （16人）	野外活動を通して参加者相互の交流を図り、多くの県民が健康・体力づくりへの関心と意欲が高められるような指導者の資質向上を図る。
3	アウトドアセミナーⅢ	6月23日（土） ～24日（日）	県民一般（18歳以上のアウトドア愛好者） （17人）	野外活動に関する基礎的理論、技能の習得、キャンプ体験を通してキャンプ指導者としての資質の向上を図る。
4	ファミリーキャンプ体験版	7月7日（土） ～8日（日）	県民一般（家族単位） （43家族、158人）	施設の常設テントに宿泊し、家族でキャンプ生活を体験することにより、野外活動への関心と意欲を高める。 ・釣り、サイクリング、野外炊飯、クラフト等
5	ハートフル潮風	8月18日（土） ～19日（日）	心身に障害のある児童・生徒とその親（小・中・高校生） （60人）	障害のある児童生徒を対象に、学校週五日制を積極的に活用し、異年齢集団の中で仲間やボランティアとの豊かな体験活動等による学校外活動の機会や場を提供することによって、自主性や協調性、社会性を伸長する。 ・地引き網、砂遊び、野外炊飯、クラフト等
6	アウトドアフェスティバル兼自然の家オープンデー	10月6日（日）	県民一般 （147人）	各種野外活動から自分で選択したものを体験することにより、自然の良さを実感し、健康や体力づくりへの関心と意欲を高める。松島自然の家を広く子どもや家族等に開放し、ハイキング、サイクリング、自然観察、ニュースポーツなどを通して、自然の家への理解と利用の促進を図る。 ・釣り、ウォークラリー、ニュースポーツ等
7	フィッシング入門	10月20日（土） ～21日（日）	小学4年生以上の子供とその親及び成人釣り初心者 （69人）	奥松島の景観を堪能しながら船釣りの楽しさを味わい、親子のふれあいや他家族との交流・親睦を深める。 ・船釣り、釣りの情報交換会
8	親子でチャレンジ	12月8日（土） ～9日（日）	子供とその家族 （25家族 78人）	奥松島の冬の味覚を親子で賞味しながら、親子のふれあいや他家族との交流・親睦を深める。 ・海苔づくり、カキむき体験
9	おい！SEA 冬の奥松島	1月12日（土） ～13日（日）	県民一般（家族単位、個人参加も可） （77人）	冬の奥松島の産品について理解を深め、味わいながら交流を深める。 ・海苔づくり、塩づくり、海鮮バーベキュー等

10	MAP体験会	5月22日(火)	大学生、社会人 (43人)	実際の活動を通してMAPの基本的な考え方について学ぶとともに体験を通してMAPの楽しさを味わう。
11	青少年長期自然体験活動推進事業 (海と山を結ぶみやぎ こどもアドベンチャー)	8月5日(日) ～11日(土)	小学5年生～中学3年生 30名	「奥松島」の大自然の中で、県内の子どもたちが、共同生活や各種の体験活動を通して交流を深めるとともに、たくましく生き抜く力や自主性・協調性などの育成を図る。 (奥松島探検、野外炊飯、絵はがきづくり、サイクリング、いかだづくり・遊び、海水浴、漁船での漁業体験、海釣り、魚さばき体験、塩づくり・火おこし体験、御来光見学体験、選択活動、貝殻細工作成等)
12	ジュニア・リーダー 上級研修会	12月25日(火) ～27日(木)	ジュニアリーダー中級取得者 40人	中級研修修了者で、市町村教育委員会の推薦者及び指導者で少年団体活動にかかわっている者を対象に実施し、ジュニア・リーダーとしての資質の向上を図る。

(2) 利用状況 第5-39表

項目 月	開所 日数 (日)	利用 日数 (日)	宿泊 可能 日数 (日)	宿泊 利用 日数 (日)	利用 団体 数 (団体)	利用者実数					利用者 延 人 数 (人)	宿泊 利用者 延 人 数 (人)	宿泊者 延 人 数 (人)	日帰り研修	
						利用者延人数								団体 数 (団体)	延 人 数 (人)
						中学生 以下 (人)	高校 生 等 (人)	引率者 (人)	一般 (人)	合計 (人)					
4月	26	22	21	15	33	340	393	80	534	1,347	2,093	1,426	742	13	667
						509	594	134	856	2,093					
5月	27	25	22	15	40	720	496	73	600	1,889	3,235	2,594	1,342	13	641
						1,378	540	123	1,194	3,235					
6月	26	25	22	16	47	982	27	88	740	1,837	2,718	1,786	881	16	932
						1,536	54	185	943	2,718					
7月	26	26	22	18	52	1,437	33	259	835	2,564	4,949	4,778	2,418	8	171
						2,807	61	476	1,605	4,949					
8月	28	28	25	25	84	970	532	123	83	857	4,827	4,815	2,919	3	12
						2,195	305	187	2,140	4,827					
9月	26	26	21	18	54	787	129	189	1,823	2,928	3,989	2,143	1,061	27	1,846
						1,176	155	358	2,300	3,989					
10月	27	23	22	9	55	787	224	137	1,913	3,061	3,735	1,433	674	41	2,302
						981	415	237	2,102	3,735					
11月	26	25	22	12	48	541	58	110	574	1,283	1,986	1,664	703	22	322
						1,038	84	189	675	1,986					
12月	24	15	20	9	21	171	71	33	283	558	940	836	382	7	104
						287	221	65	367	940					
1月	24	11	20	6	11	165	14	31	244	454	748	732	294	1	16
						355	14	72	307	748					
2月	25	13	21	7	15	196	2	31	136	365	555	438	190	10	117
						337	2	54	162	555					
3月	24	21	20	15	30	224	157	24	532	937	1,618	1,120	681	18	498
						312	255	45	1,006	1,618					
累計	309	260	258	165	490	7,320	1,727	1,138	9,071	19,256	31,393	23,765	12,287	179	7,628
						12,911	2,700	2,125	13,657	31,393					



## 第8節 宮城県蔵王自然の家

### 1 目標

#### ○教育目標

- (1) 蔵王の雄大な自然の中での体験を通して、心豊かでたくましく生きる力を備えた少年、即ち、
- ① 自然の美しさに感動し、自然を大切にす少年
  - ② 何事にもくじけない、強い意志と体力を持つ少年
  - ③ 互いに協力し、自ら生活を工夫し、他人を思いやる心を持つ少年の育成に努める。
- (2) 社会教育施設として、広く県民の利用をととして生涯学習社会の構築に寄与する。

#### ○生活の指標

教育目標の達成を目指し、少年たちの自主的な活動をととして、「規律」「協同」「友愛」「奉仕」のこころをはぐくむことを生活指標とする。

#### (1) 規律

自然の家の使い方や、自分たちで定めた約束を守り、みんなが楽しい生活をするための、集団生活の仕方を学ぶ。

#### (2) 協同

自分たちの仕事に責任を持ち、互いに力を出し合っ一つ一つの活動をなし遂げ、助け合うことの大切さを学ぶ。

#### (3) 友愛

協同生活をととして友達の良さを知り、お互いの存在を認め合うことの大事さに気づき、他人を思いやることの大切さを学ぶ。

#### (4) 奉仕

自然の美しさを守るための行動及びスムーズな集団生活ができるよう進んで活動をし、他人のために仕事をするこの楽しさを学ぶ。

### 2 目標達成のための指針

#### (1) 教育内容の充実

- ① 利用団体の主体的活動を進めるプログラム作成への支援及び学校週5日制への対応を推進する。
- ② 生涯学習社会の観点から、多様な利用に対応できるプログラムの開発やボランティアの養成に努める。
- ③ 魅力ある活動コースを開発・整備し、野外活動の活性化を図る。
- ④ 時代に対応した施設利用のあり方について工夫改善を図る。

- ⑤ セカンドスクールの実施など積極的な学校・社会教育施設及び大学との連携融合を図る。

#### (2) 広報活動の充実

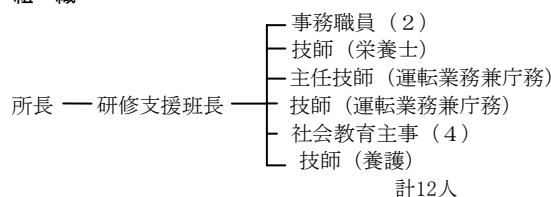
- ① 施設の理解と利用の促進を図るため、広報活動を積極的に進める。
- ② 社会教育諸団体及び関係機関との連携を深め、広く情報の提供に努める。
- ③ 利用者向け「主催事業一覧」や「利用の手引き」等を作成し利用の促進を図る。

#### (3) 施設・設備の整備、充実

- ① 活動しやすい設備の工夫と快適で清潔な環境づくりに努める。
- ② 常に施設・設備の安全点検を行い、事故防止に万全を期する。

### 3 組織と予算

#### (1) 組織



#### (2) 予算

項 目	金 額 (千円)
管 理 運 営 費	42,471
事 業 費	1,870
施 設 整 備 費	2,054
拡 張 整 備 費	0
合 計	46,395

#### (3) 収容人数

宿泊室 254人  
山小屋 120人  
テント 75人

### 4 事業概要

(第5-40表参照)

#### (1) 主催事業 第5-40表

##### ① 幼児・小・中学生を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参加者		事業内容
				実人数	延人数	
1	青少年長期自然体験活動推進事業(チャレンジin蔵王)	8月1日(水) ～7日(火)	小学5年～ 中学3年 30名	30	210	蔵王の大自然の中で、長期間のキャンプ生活や野外活動をととして、たくましく、主体的・自立的な生活をし、生きる力をはぐくむ。 (川遊び(ニジマスつかみ)、一人寝テント、石子ハイキング、野外炊飯、沢登り、乳搾り、壁掛け作り、南蔵王縦走、バーベキュー、キャンドルファイアー、記念植樹等)
2	蔵王で生き物たちとお友だち	① 6月24日(日) ② 8月5日(日) ③ 10月28日(日)	未就学児とその保護者	①63人 ②57人 ③49人	①63人 ②57人 ③49人	蔵王自然の家周辺の生き物たちに直接触れ合う体験を通して情操の育成を図る。

##### ② 家族を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参加者		事業内容
				実人数	延人数	
1	新緑親子のつどい	4月28日(土) ～29日(日)	小学生以上 親子30組 100名	82	164	蔵王の自然に親しむと共に、植物観察等を通して、親子の触れ合い、他家族との交流親睦を図る。
2	夏山親子のつどい	8月19日(土) ～20日(日)	小学生以上 親子30組 100名	111	222	蔵王の自然の中で、野外生活に親しみながら、親子の触れ合い、他家族との交流・親睦を図る。

3	紅葉親子のつどい	10月14日(土) ～15日(日)	小学生以上 親子30組 100名	106	212	野外活動を通して、秋の自然に親しみながら、親子の触れ合い、他家族との交流・親睦を図る。
4	白銀親子のつどい	2月10日(土) ～11日(日)	小学生以上 親子30組 100名	67	134	冬山の美しさにふれながら、雪遊びや歩くスキーを楽しみ、親と子の絆を深めるとともに他家族との交流・親睦を図る。

③大学生・社会人・指導者を対象とした事業

No.	事業名	期 日	予定対象者	参加者		事業内容
				実人数	延人数	
1	蔵王で野外活動ボランティア ～企画・実践～	① 5月19日(土) ～20日(日) ② 8月25日(土) ～26日(日) ③ 10月20日(土) ～21日(日) ④ 1月26日(土) ～27日(日)	大学生・社会人	①23人 ②16人 ③12人 ④8人	①46人 ②32人 ③24人 ④16人	蔵王自然の家でのボランティア活動の希望者が、フィールドワークの基礎的技術を習得し、利用者への支援が、円滑にできるようにする。
2	みやぎアドベンチャープログラム体験会	5月26日(土)	社会教育主事 青少年教育指導者等	12	12	社会教育関係者(社会教育主事、青少年教育指導者)を対象にして、地域の指導者を育成するとともに、『みやぎアドベンチャープログラム』の普及と推進を図る。
3	スキー指導者研修会	① 1月4日(金) ② 1月5日(土)	利用団体活動引率者及び大学生・社会人	①13 ②29	①13 ②29	冬季間の自然の家におけるスキー活動の指導希望者および引率者を対象に、子供たちへのスキー指導の心構えと指導場所等の確認をし、資質の向上を図る。
4	野外活動指導者研修会	8月9日(木) ～10日(金)	教職員	13	26	学校の教職員が、野外活動の基礎的技術等の習得を通して、資質の向上を図る。
5	利用事前研修会	4月13日(金)	4月～7月利用の学校	48	48	自然の家の利用の仕方、活動プログラムの立案、野外活動の指導方法等について研修を深めるとともに、同期日利用団体相互の各種調整を行う。
		7月3日(火)	8月～10月利用の学校	43	43	
		6月10日(日)	7～8月利用の子ども会・各団体・幼稚園	91	91	
		11月22日(木)	冬利用の学校	38	38	
		12月16日(日)	冬利用の子ども会・幼稚園・各団体	9	9	
6	いきいき登山教室	① 4月21日(土) ～22日(日) ② 5月20日(日) ③ 6月24日(日) ④ 8月11日(日) ⑤ 9月22日(土) ～23日(日)	50歳以上の方	①66人 ②59人 ③28人 ④51人 ⑤49人	①132人 ②59人 ③28人 ④51人 ⑤98人	登山に関する基礎技術を習得し、蔵王の美しい山々を登山しながら、同好の士と交流し、親睦を深める。

(2) 利用状況 第5-41表

項目	開所日数	利用日数	宿泊可能日数	宿泊利用日数	利用団体数	利用者実数					利用者延人数	宿泊利用者延人数	宿泊者延人数	日帰り研修	
						利用者延人数								団体数	延人数
						中学生以下	高校生等	引率者	一般	合計					
月	(日)	(日)	(日)	(日)	(団体)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
4月	26	16	20	10	99	730	120	181	279	1,310	2,724	2,524	1,414	93	200
						1,745	240	262	477	2,724					
5月	27	24	23	18	51	1,483	0	205	1,493	3,181	5,303	3,743	2,021	21	1,560
						3,288	0	361	1,654	5,303					
6月	26	23	22	17	40	958	55	219	239	1,471	3,438	3,127	1,830	28	311
						2,518	163	449	308	3,438					
7月	28	24	21	19	76	1,382	99	360	472	2,313	4,299	3,685	2,058	36	614
						2,638	202	632	827	4,299					
8月	28	25	25	19	74	1,166	112	231	642	2,151	4,644	4,123	2,575	31	521
						2,678	373	525	1,068	4,644					

9月	27	27	23	21	93	2,276	20	230	439	2,965	6,960	6,767	3,994	27	193
						5,538	40	524	858	6,960					
10月	26	17	22	12	20	404	0	81	300	785	1,519	1,211	1,211	8	308
						917	0	175	427	1,519					
11月	26	8	22	3	12	23	12	6	147	188	260	144	72	5	116
						38	22	12	188	260					
12月	24	7	19	3	9	275	3	28	116	422	723	602	301	5	121
						544	3	43	133	723					
1月	25	22	21	17	78	968	7	186	316	1,477	3,326	3,022	1,924	40	304
						2,468	14	442	402	3,326					
2月	26	25	21	18	84	1,123	41	259	250	1,673	3,732	3,447	2,056	42	285
						2,730	92	532	378	3,732					
3月	26	10	21	5	18	90	21	12	82	205	380	350	175	7	30
						171	42	24	143	380					
累計	313	228	260	162	654	10,878	490	1,998	4,775	18,141	37,308	32,745	19,631	343	4,563
						25,273	1,191	3,981	6,863	37,308					

## 第10節 宮城県志津川自然の家

### 1 目標

- (1) 「健康・規律・友愛・奉仕」の心を育む青年の家の実現をめざす。
- (2) 研修生との触れ合いを大切にし、研修生自らが積極的に学ぶことができる環境づくりに努める。
- (3) 施設の果たす役割を十分に認識し、心豊かな実践力のある青少年の育成を図る。

### 2 目標達成のための指針

- (1) 海洋型青年の家としての特色ある主催事業の推進
  - ア 青少年に活動と交流の場を提供するとともに、長期的な視点に立って、多様化した青少年の学習活動を支援促進する。
  - イ 広く県民に参加を呼びかけ満足感や自己発見ができる事業を推進する。
  - ウ 志津川湾の恵まれた自然条件のもと、海の魅力に触れ、環境問題等について考える事業を推進する。
  - エ 海洋型施設を支援するボランティアを育成するとともに、地域の指導者の活用を積極的に図る。
  - オ 児童・生徒の「生きる力」を育み、学校週5日制に対応して共同宿泊体験事業を推進する。
- (2) 研修生の自主的な研修活動に対する効果的な支援
  - ア 事前打合せを綿密に行い、利用者の研修目的に沿った計画の作成を支援する。
  - イ 研修時は、安全に留意して事故防止に万全を期し、研修効果を高めることに配慮する。
  - ウ 地域との連携を密にし、必要な情報の収集と発信に努め、利用者の多様な活動を支援する。
  - エ 学社融合を推進し、セカンドスクールとしての利用や「総合的な学習の時間」の活動を積極的に支援する。

- オ 利用者の多様な要望に対応できる幅広い研修プログラムを研究・開発する。
- カ MAP（みやぎアドベンチャー・プログラム）の指導者養成に努める。
- (3) 利用者の立場に立ったサービスの向上
  - ア 研修生には誠意をもって対応し、笑顔をたやさないよう心がける。
  - イ 施設の理解と利用の促進を図るため、広報活動に力を入れる。
  - ウ 施設環境の整備に力を注ぐ。
  - エ 専門性を発揮するための職員研修を積極的に進める。

### 3 組織と予算

#### (1) 職員組織

所長	—	研修支援班長	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員（2）</li> <li>技師（運転技術兼庁務）</li> <li>技師（栄養士）</li> <li>社会教育主事（3）</li> </ul>
----	---	--------	---	--

計9人

#### (2) 予算

項目	金額(千円)
管理経費	27,630
主催事業費	1,636
施設整備費	1,721
合計	30,987

#### (3) 収容人数

宿泊定員100人

### 4 事業概要

#### (1) 主催事業 第5-42表

No.	事業名	期日	実績	ねらい・主な研修内容
1	MAP体験会	6月5日(火)	社会教育関係者 25人	青少年の健全育成に資するために地域の指導者を育成し、「みやぎアドベンチャープログラム」の普及と推進を図る。 ・MAPとは、アクティビティ体験等
2	ヨット&マリンスポーツ	第1回 6月16日(土)～17日(日) 第2回 7月7日(土)～8日(日) 第3回 9月8日(土)～9日(日)	青年(高校生以上) 1回目 28人 2回目 29人 3回目 25人	ヨットやシーカヤックなどの操作技術を習得し、マリンスポーツを体験することによって、海の魅力や自然の雄大さにふれる。 ・講義(ヨット艦装、操作、海の交通規則) ・実技(ヨット艦装、操作、シーカヤック体験)

3	青少年長期自然体験活動推進事業 (サマー・アドベンチャー I N南三陸)	8月10日(金)～16日(木)	小学5年生～中学2年生 30人	MAPの要素を取り入れた集団宿泊的活動により、仲間と協力することの大切さを学ぶとともに、自然のすばらしさにふれ、心豊かでたくましい児童・生徒の育成を図る。 (無人島探検、いかだづくり、ドラゴンボート、オリエンテーリング、野外炊飯、魚市場見学、海水浴、レクリエーション大会、軽登山、魚竜館見学、洋上めぐり・釣り、創作活動、キャンプファイアー)等
4	スキューバで海中散歩	8月25日(土)～26日(日)	一般成人 30人	スキューバダイビングで海中の生き物に出会ったりすることにより、マリンスポーツの魅力を存分に味わい、海を愛する心を育てる。(スキューバに関する講義、スキューバダイビング体験等)
5	オータム I N志津川	10月13日(土)～14日(日)	一般成人 30人	野鳥の森でのキノコや植物の観察、磯の散策、海岸での釣り等を通して、自然の素晴らしさや大切さを学び関心を高める。 (里山散策とキノコ採集、チカ釣り等)
6	海の味覚をさぐる ～魚料理に挑戦～	11月10日(土)～11日(日)	親子 43人	志津川湾の海の幸を親子や仲間と調理し、賞味して、海の恵みの素晴らしさを知る。さらに、養殖施設の見学や実体験によって漁業への理解を深め、自然環境を考える機会とする。(イカ燻製作り、カキ・ホタテ剥き体験、シーフードバーベキューと神割崎鍋等)
7	ジュニア・リーダー 上級研修会	12月25日(火)～27日(木)	ジュニアリーダー中級取得者 22人	中級研修修了者で、市町村教育委員会の推薦者及び指導者で少年団体活動にかかわっている者を対象に実施し、ジュニア・リーダーとしての資質の向上を図る。
8	南三陸の香り、 味 I N志津川	1月19日(土)～20日(日)	一般成人 30人	南三陸の自然、風土、歴史そして味にふれることにより、南三陸の良さを知る。(くん製作り、砂金掘り体験、カキ・ホタテむき体験、シーフードバーベキュー、海鮮鍋等)

(2) 利用状況 第5-43表

項目 月	開 所 日 数 (日)	利 用 日 数 (日)	宿 泊 可 能 日 数 (日)	宿 泊 利 用 日 数 (日)	利 用 団 体 数 (団体)	利 用 者 実 数					利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 利 用 者 延 人 数 (人)	宿 泊 者 延 人 数 (人)	日帰り研修	
						利 用 者 延 人 数								団 体 数 (団体)	延 人 数 (人)
						中 学 生 以 下 (人)	高 校 生 等 (人)	引 率 者 (人)	一 般 (人)	合 計 (人)					
4月	25	18	20	13	13	148	258	47	98	551	1,230	1,206	679	1	24
						317	547	107	259	1,230					
5月	29	28	25	23	24	996	28	110	359	1,493	3,209	2,897	1,716	5	312
						2,407	106	268	428	3,209					
6月	27	27	22	17	26	698	18	124	115	955	2,265	2,215	1,310	2	50
						1,709	50	301	205	2,265					
7月	27	27	23	19	36	836	84	143	354	1,417	2,976	2,753	1,559	3	233
						1,835	206	340	595	2,976					
8月	29	29	26	26	30	476	74	131	164	845	2,552	2,515	1,709	1	37
						1,502	222	400	428	2,552					
9月	27	27	22	21	27	509	3	116	307	935	2,214	2,182	1,279	1	32
						1,203	6	271	734	2,214					
10月	26	12	22	9	10	126	91	57	91	365	743	674	378	1	69
						260	182	85	216	743					
11月	26	11	22	5	10	241	11	57	73	382	746	713	364	1	33
						480	23	107	136	746					
12月	24	13	19	7	7	65	23	21	141	250	574	563	324	1	11
						167	69	55	283	574					
1月	24	8	20	5	8	64	130	29	41	264	599	599	335	0	0
						132	319	66	82	599					
2月	25	8	21	4	4	12	10	9	28	59	119	107	60	1	12
						13	30	20	56	119					
3月	26	11	21	7	8	73	94	33	49	249	605	605	356	0	0
						146	253	78	128	605					
累計	315	219	263	154	203	4,244	824	877	1,820	7,765	17,832	17,029	10,067	17	803
						10,171	2,031	2,098	3,550	17,832					